

## 2021 年度あゆみ業績

### 神経

#### —論文—

1. Hayashi M, Mishima K, Fukumizu M, Takahashi H, Ishikawa Y, Hamada I, Sugioka H, Yotsuya O, Yamashita Y. Melatonin Treatment and Adequate Sleep Hygiene Interventions in Children with Autism Spectrum Disorder: A Randomized Controlled Trial. *Journal of Autism and Developmental Disorders*. 2021 Jun 28. DOI: 10.1007/s10803-021-05139-w.
2. Nakahara H, Hashizume N, Yoshida M, Fukaori S, Ishii S, Saikusa N, Koga Y, Higashidate N, Sakamoto S, Tsuruhisa S, Tanaka Y, Yamashita Y, Yagi M. Creatinine-to-cystatin C ratio estimates muscle mass correlating the markers of the patients with severe motor and intellectual disabilities. *Brain and Development*. 2021 Nov 12; S0387-7604(21)00190-X. doi:10.1016/j.braindev.2021.10.006.
3. Sakamoto S, Hashizume N, Fukahori S, Ishii S, Saikusa N, Higashidate N, Aramaki S, Matsuo Y, Takeshita E, Tanaka Y, Yamashita Y, Yagi M. Complications in patients with neurological impairment after gastrectomy. *Pediatrics International*. 2021;63(11):1357-1362. doi:10.1111/ped.14645.
4. 山下裕史朗. COVID-19パンデミックの神経発達症をもつ子どもへのインパクト. *小児保健研究*. 2021;80(1):1-1.
5. 山下裕史朗. ADHDのSummer Treatment Program. 15年間の実践から学んだ子育て支援のコツ. *小児保健研究*. 2021;80(3):260-262.
6. 江上千代美, 田中美智子, 桑野瑞恵, 塩田 昇, 山下裕史朗. ポピュレーションアプローチを目指した地域での前向き子育ての実践. *小児保健研究*. 2021;80(3):303-306.
7. 弓削康太郎. 第62回日本小児神経学会学術集会 (WEB開催)に参加して. *脳と発達*. 2021;53:69-70.
8. 梶梅あい子, 山下裕史朗, 米山 明. 第14回プライマリケア医 (小児科医, 総合診療医)のための子どもの心の診療セミナー. *脳と発達*. 2021;53:150-1.
9. 木村重美, 米山 明, 山下裕史朗. 災害をシミュレーションしてみよう. *脳と発達*. 2021;53:191-4.
10. 宮本雄策, 山下裕史朗, 米山 明. 第18回「医療的ケア」研修セミナー. *脳と発達*. 2021;53:220-2.
11. 山下裕史朗. 第15回プライマリケア医 (小児科医, 総合診療医)のための子どもの心の診療セミナー. *脳と発達*. 2021;53:392-3.
12. 上杉 達, 長井孝二郎, 山下裕史朗. 心肺停止蘇生後に虚血性大腸炎による結腸狭窄をきたした1乳児例. *日本小児救急医学会雑誌*. 2021;20(1):48-51.
13. 松岡美智子, 石井隆大, 永光信一郎. 精神疾患の親をもつ子どもへの支援の在り方について—精神科医の役割—. *子の心とからだ*. 2021;30(3):353-358.
14. 弓削康太郎. 脊髄性筋萎縮症 (SMA) に対する革新的な治療法. *久留米大学医学部同窓会月報*. 第386号 2021.11.5.

#### —著書—

1. 山下裕史朗. *小児の自閉スペクトラム症 (アスペルガー障害を含む)*. 今日の治療指針 2022年版 医学書院.

## ー講演・シンポジウムー

### ー会長講演

1. 山下裕史朗. Ignite Evolution at the Dawn of a New Age (新時代の夜明けにさらなる進化を引き起こそう). 第63回日本小児神経学会学術集会. 2021.5.27 (福岡Web)

### ー特別講演

1. 弓削康太郎. 脊髄性筋萎縮症治療の課題と今後. 大分SMA Forum. 2021.9.30 (大分Web)

### ー教育講演

1. 山下裕史朗. 神経発達症とかかりつけ医. 第32回日本小児科医会総会フォーラム. 2021.6.26-27 (福岡Web)

### ー市民公開講演

1. 山下裕史朗. ADHDの子どもたちとの付き合い方講座. 第63回日本小児神経学会学術集会 市民公開講座. 2021.6.4 (久留米Web オンデマンド配信～7/30まで)

### ー講演

1. 山下裕史朗. 小児期の神経発達症の伴う入眠困難に対する新たな治療strategy. 大分市小児科医会学術講演会. 2021.1.27 (久留米Web)
2. 山下裕史朗. 『こんなお子さんいませんか?』 ～日常の困りごとや眠りの問題～. 岡山県小児科医会研修会～オンライン講演会～. 2021.7.3 (Web)
3. 家村明子. 気になる子どもへの関わり方. 令和3年度特別支援保育研修会. 2021.7.12 (久留米市教育センター)
4. 家村明子. 気になる子どもへの関わり方. 令和3年度特別支援保育研修会. 2021.7.20 (宮ノ陣クリーンセンター)
5. 家村明子. 気になる子どものへ関わり方. 令和3年度久留米市職員合同研修会・幼児教育研究所子育て講演会. 2021.7.20 (久留米市教育センター)
6. 小池敬義. 小児てんかん重積状態の定義・疫学・病態. 小児てんかん重積マネジメントWeb講演会. 2021.8.23 (Web)
7. 弓削康太郎. ペランパネルの特性からBest Patient Typeを考える. 久留米・佐賀てんかんカンファレンス. 2021.9.15 (Web)
8. 弓削康太郎. 短期・長期の安全性データに焦点を当てて. Expert Meeting On Onasemnogene Apeparvovec AAVベクターの特性からSMA治療を考える. 2021.9.19 (東京Web)
9. 小池敬義. 小児てんかん診療の現状と地域でのサポート. 地域連携 南筑後の小児てんかんを考える. 2021.10.19 (Web)
10. 石井隆大. 小児心身症を見逃さない・怖がらない～心身症の患児への向き合い方や接し方を一緒に考えてみよう～. こどもどこオンラインセミナー. 2021.11.20 (Web)
11. 弓削康太郎. 運動機能評価以外の評価方法. エブリスディ福岡・佐賀・長崎講演会. 2021.12.13 (福岡)

### ーシンポジウム

1. 弓削康太郎. グレリンを用いたレット症候群の新規治療法開発 ー世界の治療開発のレビューを含めてー. 第63回日本小児神経学会学術集会. 2021.5.28 (福岡Web)
2. 石井隆大. 久留米大学小児科におけるICTを取り入れた小児保健指導の試み. 第68回日本小児保健協会学術

集会. 2021.6.18-20 (沖縄Web・オンデマンド配信)

3. 弓削康太郎. 自閉症スペクトラム症の新規病態と治療的展開. 第43回日本生物学的精神医学会・第51回日本神経精神薬理学会合同年会. 2021.7.14 (京都Web)

#### ー共催シンポジウム

1. 山下裕史朗. 小児ADHDと依存疾患. 第39回日本小児心身医学会. 2021.9.23 (久留米ホテルエスプリからWeb配信)
2. 原 宗嗣. オーフアンドラッグ開発における久留米大学小児科の役割. バイオ戦略「地域バイオコミュニティ」認定キックオフイベント「福岡バイオコミュニティ」の挑戦. 2021.11.26 (東京)

#### ーセミナー

1. 山下裕史朗. ADHDの基礎知識 ADHDの特性を活かすがんばりカードの作り方とポイント 教室で生かす7つのルール. ADHDの子どもたちとの付き合い方講座. 2021.1.30 (久留米ZOOM)
2. 山下裕史朗. 落ち着きのない子どもへの外来診療エッセンス. 第15回プライマリケア医のための子どもの心の診療セミナー. 2021.3.7 (ZOOM)
3. 弓削康太郎. 神経発達症診療のいま～睡眠から攻める～. 第217回筑後小児医会セミナー. 2021.3.11 (福岡)
4. 後藤康平, 弓削康太郎, 石井隆大, 八戸由佳子, 永光信一郎, 山下裕史朗. ペランパネルへのさらなる期待. ケトン食療法の併用: 筑後小児てんかんセミナー. 2021.3.30 (Web)
5. 大矢崇志. 神経発達症の診療のすすめ方. 第325回筑豊小児科医会勉強会. 2021.4.8 (飯塚ZOOM)
6. 山下裕史朗. ADHDの子どもたちとの上手な付き合い方～特性を活かすがんばりカードの作り方～. Janssen ADHD Webinar. 2021.4.20 (久留米ZOOM)
7. 山下裕史朗. 発達障がいのある子どもの保護者の養育レジリエンス向上 ー不適切な子育てを防止する社会活動ー. 第63回日本小児神経学会学術集会. 2021.5.27 (福岡Web)
8. 山下裕史朗. 発達障害をもつ子どもの理解と支援. 第1回筑後地区難聴言語障害等教育連絡協議会. 2021.6.14 (Web)
9. 弓削康太郎. 激動の脊髄性筋萎縮症. 遺伝子治療の実際と早期診断の重要性: 第220回筑後小児科医会セミナー. 2021.10.28 (久留米)
10. 山下裕史朗. けいれん重積の治療と医療安全. ミダフレッサてんかんWEBセミナー. 2021.11.4 (Web)

#### ーイブニングセミナー

1. 山下裕史朗. 睡眠障害への介入の意義を考える～メラトニンの臨床試験の結果から見えてきたこと～. 第125回日本小児精神神経学会イブニングセミナー. 2021.6.27 (Web)

#### ー学会・研究会演題ー

##### ー一般演題 (口演)

1. 後藤康平, 八戸由佳子, 石井隆大, 弓削康太郎, 永光信一郎, 山下裕史朗. ケトン食療法とペランパネル併用3例の臨床的考察. 第63回小児神経学会学術集会. 2021.5.27 (福岡Web)
2. 八戸由佳子, 弓削康太郎, 山下裕史朗. 粗大運動機能に制限がある進行脊髄性筋萎縮症患者を対象としたヌシネルセンの有効性評価方法の検討. 第63回日本小児神経学会学術集会. 2021.5.28 (福岡Web)

3. 吉塚梯子. 無痛性甲状腺炎の合併が疑われた神経性やせ性. 第39回日本小児心身医学会. 2021.9.23 (Web)
4. 石井隆大, 吉塚梯子, 山下大輔, 山下裕史朗. 多数の専門分野を有する施設における小児リエゾンの役割. 第39回日本小児心身医学会. 2021.9.23 (Web)
5. 山下大輔, 吉塚梯子, 石井隆大, 山下裕史朗. 再栄養後に急激な体重増加を来した偏食歴のある自閉スペクトラム症/知的障害のある男児の一例. 第39回日本小児心身医学会. 2021.9.23 (Web)

#### —一般演題 (ポスター)—

1. 弓削康太郎, 高橋知之, 松石豊次郎, 山下裕史朗. MeCP2欠損マウスによるレット症候群の睡眠障害に関する研究. 第63回日本小児神経学会学術集会. 2021.5.27-5.29 (福岡Web)

#### —国内学会—

1. 江頭優佳, 林小百合, 魚野翔太, 加賀佳美, 北村柚葵, 北 洋輔, 山下裕史朗, 岡田 俊, 稲垣真澄. 注意欠陥・多動症児の時間知覚機能に関する検討. 日本ADHD学会 第12回総会. 2021.3.6-3.7 (オンデマンド配信)

#### —研究会・学会地方会—

1. 後藤康平, 八戸由佳子, 石井隆大, 磯岡藍子, 七種朋子, 弓削康太郎, 岡部留美子, 原 宗嗣, 大矢崇志, 家村明子, 永光信一郎, 山下裕史朗. 発達遅延、小脳症状を認めた10歳男児(A). 第90回日本小児神経学会九州地方会. 2021.1.10 (宮崎Web)
2. 新居見真吾, 長井孝二郎, 向井純平, 八戸由佳子, 石井隆大, 弓削康太郎, 中川慎一郎, 永光信一郎, 山下裕史朗. 胸腺腫を合併した小児全身型重症筋無力症クリーゼの1例. 第511回日本小児科学会福岡地方会例会. 2021.2.13 (福岡)

#### —その他—

1. 弓削康太郎. 全合成グレリン静注によるレット症候群に対する疾患修飾薬の開発. 革新的医療技術創出拠点拠点調査会議. 2021.11.2(九州大学病院)

#### —記念誌、新聞、テレビ、ラジオ—

1. 山下裕史朗. 発達障害に差別的発言. 西日本新聞(筑後版・朝刊) 2021.1.29
2. 山下裕史朗. 寝ずに遊び、食事2時間…。西日本新聞(筑後版・朝刊) 2021.3.5
3. 山下裕史朗. 私のマインドフルネス. 久留米医師会広報No.512 2021.8.20
4. 山下裕史朗. マインドフルに生きるとは～セルフケアの一方法～. ハッピーママくらぶ No.67
5. 山下裕史朗. 神経発達症をもつお子さんのトランジション(移行支援). ハッピーママくらぶ No.68
6. 山下裕史朗. 神経発達症の本人への告知. ハッピーママくらぶ No.69
7. 山下裕史朗. 「災害時の備えは十分ですか?」. ハッピーママくらぶ No.70
8. 山下裕史朗. 発達障害の考え方、基本的対応法と子育てレジリエンス(再). ハッピーママくらぶ No.71
9. 山下裕史朗. 吃音(きつおん)についてご存知ですか?. ハッピーママくらぶ No.72
10. 山下裕史朗. 神経発達症とかかりつけ医. 日本小児科医会会報 第62号 2021年10月発行

## —研究費・受賞—

1. 山下裕史朗. 文部科学省研究費 基盤研究(C)(継続)「唾液コルチゾール・MHPGは神経発達症診断・治療評価に有用か？」211万円(代表)
2. 山下裕史朗. 文部科学研究費 基盤研究(C)(新規)(主任研究者 原 宗嗣)「交感神経細胞の分化転換がレット症候群の脳心連関システム制御異常の原因か？」3万円(分担)
3. 2021年度リーディングプロジェクト「オーファンドラッグ開発基盤の構築」代表総括 山下裕史朗 880万円
4. 山下裕史朗. エーザイ(株)奨学寄付「地域におけるComplex ADHD患者への個別最適診断・治療法の開発」100万円
5. 原 宗嗣. 文部科学研究費 基盤研究(C)(新規)「交感神経細胞の分化転換がレット症候群の脳心連関システム制御異常の原因か？」90万円(代表)
6. 弓削康太郎. 文部科学省研究費 基盤研究(若手)(継続)「レット症候群のグレリン投与による治療メカニズムの解明」187万円(代表)
7. 弓削康太郎. AMED革新的医療シーズ実用化研究事業「医師主導第2相試験のプロトコル作成研究—レット症候群に対するグレリンの有効性及び安全性の検討—」449.8万円(代表)
8. 石井隆大. 文部科学省研究費 基盤研究(若手)(継続)「ICTを活用した小児睡眠障害への予防介入・認知行動療法の開発」61万円(代表)
9. 吉塚梯子. 内村助成金 若手女性研究者助成金「親との死別を経験したAYA世代の複雑性悲嘆のハイリスク因子についての研究」10万円(代表)
10. 七種朋子. 令和3年度日本小児神経学会優秀論文賞. 第63回日本小児神経学会学術集会. 2021.5.27-29.

## 循環器

### —論文—

1. Teramachi Y, Maeno Y, Hirose A, Horinouchi T, Kozuma Y, Yoshizato T, Suda K. Simple method to distinguish the type of fetal premature contraction using arterial Doppler time interval measurements. J Obstet Gynaecol Res. 2021 Feb;47(2):495-500. doi: 10.1111/jog.14563. PMID: 33164296
2. Baba K, Suda K, Motoki T, Takahashi S, Sugiyama H, Fujimoto K, Kitano M, Fujii T, Kise H, Ohtsuka S, Tomita H. Static balloon atrial septostomy in Japan in shortage of standard balloon septostomy catheter. J Cardiol. 2021 Sep;78(3):219-223. doi: 10.1016/j.jjcc.2021.04.008.
3. Yoshikane Y, Okuma Y, Miyamoto T, Hashimoto J, Fukazawa R, Kato T, Takeda A, Suda K, Matsushita T, Hiroe M, Imanaka-Yoshida K. Serum tenascin-C predicts resistance to steroid combination therapy in high-risk Kawasaki disease: a multicenter prospective cohort study. Pediatric Rheumatology. 2021;19:82 doi: 10.1186/s12969-021-00562-w.PMID: 34090475

### —著書—

1. 須田憲治. 特集 おさえておきたい川崎病ガイドラインのツボII. ガイドラインに基づく心臓血管後遺症の診療 冠動脈画像検査. 小児科診療. 2021;84(9):1201-6
2. 須田憲治. 【川崎病の今】急性期以降の治療 カテーテル治療. 小児内科. 2021;53(1):131-5

3. 須田憲治. 2021年改訂版 先天性心疾患、心臓大血管の構造的疾患 (structural heart disease) に対するカテーテル治療のガイドライン (日本循環器学会/日本心臓病学会/日本心臓血管外科学会/日本血管外科学会/日本胸部外科学会合同ガイドライン)  
日本循環器病学会  
[https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2021/03/JCS2021\\_Sakamoto\\_Kawamura.pdf](https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2021/03/JCS2021_Sakamoto_Kawamura.pdf)  
日本心臓血管学会  
[https://plaza.umin.ac.jp/~jscvs/wordpress/wp-content/uploads/2020/06/JCS2014\\_nakanishi\\_h.pdf](https://plaza.umin.ac.jp/~jscvs/wordpress/wp-content/uploads/2020/06/JCS2014_nakanishi_h.pdf)
4. 須田憲治, 前野泰樹. 胎児心エコー検査ガイドライン (第2版).  
日本胎児心臓病学会 <https://www.jsfc.jp/guidelines>  
日本小児循環器学会雑誌 Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery. 2021;37(S1):S1.1-57
5. 須田憲治. V遠隔期の検査・治療・管理 6 その他の検査 血管内エコー (IVUS). 川崎病学 改定第2版. 2021;193-5
6. 寺町陽三, 堀之内崇士, 前野泰樹, 吉里俊幸. 【胎児超音波診断を活かす—産科医と新生児科医からの情報提供—】先天性心疾患 不整脈 頻脈. 周産期医学. 2021;51(9):1301-9
7. 須田憲治. 未就学児の下縁の短い大きなASDに対するOcclutech Figulla Flex II ASD Occluderを用いた閉鎖術. Congenital and Structural Heart Disease Case Report. 2021 ; 6

#### —講演・シンポジウム—

##### —国際学会

1. Kato H. Insight into cardiovascular issues of Kawasaki disease : My milestones for 50 years. The 1<sup>st</sup> Tomisaku Kawasaki Memorial Lecture. The 13<sup>th</sup> International Kawasaki Disease Symposium. 2021.10.29 (Virtual)
2. Ayusawa M, Kobayashi T, Suzuki H, Abe J, Ito S, Kato T, Kamada M, Shiono J, Suda K, Tsuchiya K, Nakamura T, Nakamura Y, Nomura Y, Hamada H, Fukazawa R, Furuno K, Matsuura H, Matsubara T, Miura M, K. Takahashi K, Mitani M, Imada Y, Harigai M. Revision of Japanese Diagnostic Guidelines of Kawasaki Disease in 2019. Symposium 2, The 13<sup>th</sup> International Kawasaki Disease Symposium. 2021.10.29 (Virtual)
3. Kato T, Kobayashi T, Ayusawa M, Fukazawa F, Fuse S, Hirono K, Mitani Y, Suda K, Maeda J, Miura M. Analysis of the long-term clinical course and the factors associated with coronary arterial aneurysm regression in Kawasaki disease patients. Symposium 10, The 13th International Kawasaki Disease Symposium. 2021.10.30 (Virtual)

##### —国内学会

1. 寺町陽三, 前野泰樹, 廣瀬彰子, 須田憲治. Tissue Doppler法における胎児Myocardial Performance Indexの新たな測定. 第57回日本小児循環器学会総会・学術集会. パネルディスカッション「臨床につながる胎児心機能・胎児循環不全評価方法」2021.7.9 (奈良Hybrid開催)

##### —その他

1. 須田憲治. Closing Remarks. 成人先天性心疾患に伴う肺高血圧症WEBセミナー in 福岡. 2021.6.2 (Web開催)
2. 鍵山慶之. 後下縁の短い大きな心房中隔欠損孔に対する経皮的閉鎖術. ストラクチャークラブ・ジャパン 2021 Challenging and Nightmareセッション 2021.11.6 (東京Hybrid開催)

## —学会・研究会演題—

### —国際学会

#### —ポスター

1. Takase R, Tsuda K, Kagiya Y, Teramachi Y, Koteda Y, Suda K. A case of Kawasaki disease shock syndrome. The 13th International Kawasaki Disease Symposium. 2021.10.29 (Virtual)

### —国内学会

#### —口 演

1. 馬場健治, 須田憲治, 高室基樹, 高橋 信, 杉山 央, 藤本一途, 北野正尚, 藤井隆成, 喜瀬広亮, 大月審一, 富田英. Rashkind BASカテーテル供給停止後の我が国における static BASの実態調査. 第57回日本小児循環器学会総会・学術集会 2021.7.9 (奈良Hybrid開催)
2. 津田恵太郎, 高瀬隆太, 鍵山慶之, 寺町陽三, 籠手田雄介, 須田憲治. 著明な心機能低下を呈した川崎病ショック症候群の1例. 第57回日本小児循環器学会総会・学術集会 2021.7.9 (奈良Hybrid開催)
3. 前田靖人, 寺町陽三, 清松光貴, 津田恵太郎, 鍵山慶之, 高瀬隆太, 籠手田雄介, 家村素史, 須田憲治. 第57回日本小児循環器学会総会・学術集会 2021.7.9 (奈良Hybrid開催)
4. 高瀬隆太, 鍵山慶之, 寺町陽三, 籠手田雄介, 弓削康太郎, 渡邊順子, 須田憲治, 山下裕史朗. 多発性の体肺動脈側副血管を合併するKCN T1遺伝子変異による難治性てんかんの1例. 第57回日本小児循環器学会総会・学術集会 2021.7.10 (奈良Hybrid開催)
5. 鍵山慶之, 籠手田雄介, 高瀬隆太, 寺町陽三, 家村素史, 須田憲治. 心房中隔欠損閉鎖デバイスの最終的な形態はリリース前にどの程度予測できるか. 第57回日本小児循環器学会総会・学術集会 2021.7.10 (奈良Hybrid開催)
6. 清松光貴, 鍵山慶之, 高瀬隆太, 寺町陽三, 籠手田雄介, 財満康之, 庄嶋賢弘, 前野泰樹, 須田憲治. 胎児診断によりスムーズに心内修復に到達できた左肺動脈動脈管起始症、右側大動脈弓の一例. 第57回日本小児循環器学会総会・学術集会 2021.7.10 (奈良Hybrid開催)
7. 寺町陽三, 前野泰樹, 堀之内崇士, 吉里俊幸. Short VA typeの胎児期頻拍発作において心室頻拍は鑑別できるのか? 第18回日本胎児治療学会学術集会 2021.12.11 (東京Hybrid開催)
8. 川上浩介, 寺町陽三, 木下正啓, 柏田浩伸, 池田裕一郎, 堀之内崇士, 庄嶋賢弘, 前野泰樹, 吉里俊幸, 牛嶋公生. 妊娠26週で胎児水腫を来した完全房室ブロックに対して胎児治療で妊娠延長を図り、娩出時期の決定に苦慮した一例. 第18回日本胎児治療学会学術集会 2021.12.11 (東京Hybrid開催)

#### —ポスター

1. 高瀬隆太, 渡邊順子, 徳富謙太郎, 鍵山慶之, 福井香織, 寺町陽三, 籠手田雄介, 家村素史, 須田憲治, 山下裕史朗. 複雑心奇形術後に閉塞性黄疸が顕在化したAlagille症候群の1例. 第44回日本小児遺伝学会総会・学術集会. 2021.11.12 (Web開催)

### —研究会・学会地方会

#### —口 演

1. 木村 拓, 石井隆大, 木村拓郎, 荒木潤一郎, 鍵山慶之, 八戸由佳子, 高瀬隆太, 弓削康太郎, 寺町陽三, 籠手田雄介, 田中征治, 西小森隆太, 須田憲治, 山下裕史朗, 富田尚文. 再栄養後に急性心不全を疑われた6歳接触障害児の1例. 第514回日本小児科学会福岡地方会 2021.6.12 (福岡Hybrid開催)
2. 津田恵太郎, 寺町陽三, 鍵山慶之, 高瀬隆太, 籠手田雄介, 前野泰樹, 須田憲治. 胎児期より胎児頻拍を指摘され、出生後に心室頻拍と診断した新生児心室頻拍の1例. 九州小児不整脈研究会. 2021.12.3 (Web開催)

## －その他

1. 須田憲治. 症例検討会. ゴアカーディオファーム ASD オクルーダーアドバイザーボードミーティング 2021.12.12 (東京)

## －研究費・受賞－

1. 須田憲治. AMED 難治性疾患実用化研究事業 (吉兼班) 「川崎病冠動脈瘤を予防するための急性期難治例予測診断法の開発研究」 (R3 年度)
2. 須田憲治. 厚生労働省難治性疾患政策研究事業 (白石班) 「先天性心疾患を主体とする小児期発症の心血管難治性疾患の救命率の向上と生涯にわたる QOL 改善のための総合的研究」 (R3 年度)
3. 須田憲治. 文部科学省科学研究費基盤研究 (C) 「低出生体重と内臓脂肪が学童の心血管機能に及ぼす影響の検討」 (R3 年度)
4. 高瀬隆太. 文部科学省科学研究費若手研究 「エピゲノム解析による免疫グロブリン療法抵抗性川崎病の機序解明」 (R3 年度)
5. 鍵山慶之. 文部科学省科学研究費若手研究 「在胎不当過小児への成長ホルモン過剰による血管機能障害および動脈硬化前病変の調査」 (R3 年度)
6. 前田靖人. 文部科学省科学研究費若手研究 「導出 18 誘導心電図を用いた肺高血圧症の診断方法の」 (R3 年度)

## 免疫膠原病

### －論文－

1. Arakawa A, Kambe N, Nishikomori R, Tanabe A, Ueda M, Nishigori C, Miyachi Y, Kanazawa N. NOD2 Mutation-Associated Case with Blau Syndrome Triggered by BCG Vaccination. *Children (Basel)*. 2021;8(2).
2. Fujimoto K, Hidaka Y, Koga T, Kaieda S, Yamasaki S, Nakashima M, Hoshino T, Yamamoto K, Nishikomori R, Ida H. MEFV E148Q variant is more associated with familial Mediterranean fever when combined with other non-exon 10 MEFV variants in Japanese patients with recurrent fever. *Mod Rheumatol*. 2021;31(6):1208-14.
3. Hidaka Y, Fujimoto K, Matsuo N, Koga T, Kaieda S, Yamasaki S, Nakashima M, Migita K, Nakayama M, Ohara O, Hoshino T, Nishikomori R, Ida H. Clinical phenotypes and genetic analyses for diagnosis of systemic autoinflammatory diseases in adult patients with unexplained fever. *Mod Rheumatol*. 2021;31(3):704-9.
4. Honda Y, Maeda Y, Izawa K, Shiba T, Tanaka T, Nakaseko H, Nishimura K, Mukoyama H, Isa-Nishitani M, Miyamoto T, Nihira H, Shibata H, Hiejima E, Ohara O, Takita J, Yasumi T, Nishikomori R. Rapid Flow Cytometry-Based Assay for the Functional Classification of MEFV Variants. *J Clin Immunol*. 2021;41(6):1187-97.
5. Ito M, Nihira H, Izawa K, Yasumi T, Nishikomori R, Iwaki-Egawa S. Enzyme activity in dried blood spot as a diagnostic tool for adenosine deaminase 2 deficiency. *Anal Biochem*. 2021;628:114292.
6. Kato T, Yamamoto M, Honda Y, Orimo T, Sasaki I, Murakami K, Hemmi H, Fukuda-Ohta Y, Isono K, Takayama S, Nakamura H, Otsuki Y, Miyamoto T, Takita J, Yasumi T, Nishikomori R, Matsubayashi T, Izawa K, Kaisho T. Augmentation of Stimulator of Interferon Genes-Induced Type I Interferon Production in COPA Syndrome. *Arthritis Rheumatol*. 2021;73(11):2105-15.

7. Kanazawa N, Hemmi H, Kinjo N, Ohnishi H, Hamazaki J, Mishima H, Kinoshita A, Mizushima T, Hamada S, Hamada K, Kawamoto N, Kadowaki S, Honda Y, Izawa K, Nishikomori R, Tsumura M, Yamashita Y, Tamura S, Orimo T, Ozasa T, Kato T, Sasaki I, Fukuda-Ohta Y, Wakaki-Nishiyama N, Inaba Y, Kunimoto K, Okada S, Taketani T, Nakanishi K, Murata S, Yoshiura KI, Kaisho T. Heterozygous missense variant of the proteasome subunit  $\beta$ -type 9 causes neonatal-onset autoinflammation and immunodeficiency. *Nat Commun.* 2021;12(1):6819.
8. Kawano G, Yokochi T, Nishikomori R, Watanabe Y, Ohbu K, Takahashi Y, Shintaku H, Matsuishi T. Case Report: Rituximab Improved Epileptic Spasms and EEG Abnormalities in an Infant With West Syndrome and Anti-NMDAR Encephalitis Associated With APECED. *Front Neurol.* 2021;12:679164.
9. Kawashima Y, Nishikomori R, Ohara O. Multiomic technologies for analyses of inborn errors of immunity: from snapshot of the average cell to dynamic temporal picture at single-cell resolution. *Inflamm Regen.* 2021;41(1):19.
10. Nihira H, Izawa K, Ito M, Umebayashi H, Okano T, Kajikawa S, Nanishi E, Keino D, Murakami K, Isa-Nishitani M, Shiba T, Honda Y, Hijikata A, Yasu T, Kubota T, Hasegawa Y, Kawashima Y, Nakano N, Takada H, Ohga S, Heike T, Takita J, Ohara O, Takei S, Takahashi M, Kanegane H, Morio T, Iwaki-Egawa S, Sasahara Y, Nishikomori R, Yasumi T. Detailed analysis of Japanese patients with adenosine deaminase 2 deficiency reveals characteristic elevation of type II interferon signature and STAT1 hyperactivation. *J Allergy Clin Immunol.* 2021;148(2):550-62.
11. Okazaki F, Wakiguchi H, Korenaga Y, Nakamura T, Yasudo H, Uchi S, Yanai R, Asano N, Hoshii Y, Tanabe T, Izawa K, Honda Y, Nishikomori R, Uchida K, Eishi Y, Ohga S, Hasegawa S. A novel mutation in early-onset sarcoidosis/Blau syndrome: an association with *Propionibacterium acnes*. *Pediatr Rheumatol Online J.* 2021;19(1):18.
12. Onizawa H, Kato H, Kimura H, Kudo T, Soda N, Shimizu S, Funabiki M, Yagi Y, Nakamoto Y, Priller J, Nishikomori R, Heike T, Yan N, Tsujimura T, Mimori T, Fujita T. Aicardi-Goutières syndrome-like encephalitis in mutant mice with constitutively active MDA5. *Int Immunol.* 2021;33(4):225-40.
13. Sakaguchi H, Mizuochi T, Haruta M, Takase R, Yoshida S, Yamashita Y, Nishikomori R. AIRE Gene Mutation Presenting at Age 2 Years With Autoimmune Retinopathy and Steroid-Responsive Acute Liver Failure: A Case Report and Literature Review. *Front Immunol.* 2021;12:687280.
14. Shimizu M, Matsubayashi T, Ohnishi H, Nakama M, Izawa K, Honda Y, Nishikomori R. Haploinsufficiency of A20 with a novel mutation of deletion of exons 2-3 of TNFAIP3. *Mod Rheumatol.* 2021;31(2):493-7.
15. Shiraki M, Williams E, Yokoyama N, Shinoda K, Nademi Z, Matsumoto K, Nihira H, Honda Y, Izawa K, Nishikomori R, Slatter MA, Cant AJ, Gennery AR, Ohnishi H, Kanegane H. Hematopoietic Cell Transplantation Ameliorates Autoinflammation in A20 Haploinsufficiency. *J Clin Immunol.* 2021;41(8):1954-6.
16. Yokoi K, Minamiguchi S, Honda Y, Kobayashi M, Kobayashi S, Nishikomori R. Necrotizing Funisitis as an Intrauterine manifestation of Cryopyrin-Associated Periodic Syndrome: a case report and review of the literature. *Pediatr Rheumatol Online J.* 2021;19(1):77.
17. Yu Y, Watanabe R, Shibao K, Ishii Y, Nishikomori R, Heike T, Fujisawa Y, Furuta J. Case of cryopyrin-associated periodic syndrome who recovered from growth delay by treatment with canakinumab. *J Dermatol.* 2021;48(2):e98-e9.
18. 仁平寛士, 井澤和司, 八角高裕, 西小森隆太. 【血液内科医が注意すべき免疫異常・免疫不全】アデノシンデアミナーゼ2 (ADA2) 欠損症における造血障害. *血液内科.* 2021;82(5):678-83.

19. 西小森隆太. 医学・医療の最前線シリーズ 原因不明の炎症性疾患 自己炎症性疾患の診療. 久留米医学会雑誌. 2021;84(1-3):1-9.
20. 西小森隆太, 田中征治, 井澤和司. 【希少・難治性疾患の診断と治療の最前線 2021】家族性地中海熱. Progress in Medicine. 2021;41(2):159-163.
21. 西小森隆太, 田中征治. セミナー 不明熱 ①3大不明熱疾患(感染症, 悪性腫瘍, 膠原病)とその周辺を知る 周辺領域 自己炎症性症候群を疑う不明熱. Medical Practice. 2021;38(11):1687-1691.

## —講演・シンポジウム—

### —国内学会—

1. 西小森隆太. 自己炎症性症候群の診療の実際. 第65回日本リウマチ学会総会・学術集会 2021.4.26-28 (WEB)
2. 西小森隆太. 自然免疫が関連する炎症性疾患 インフラマソーム関連自己炎症性症候群. 日本リウマチ学会総会・学術集会 2021.4.26-28 (WEB)
3. 西小森隆太. Year in Review Basics 2019-2021. 第30回日本小児リウマチ学会総会・学術集会 2021.10.15-17 (WEB)
4. 西小森隆太. 自己炎症性症候群のアニュアルエビデンスレビュー. 第48回日本臨床免疫学会総会 2021.10.28-30 (WEB)

### —研究会・学会地方会—

1. 西小森隆太. 本邦の自己炎症性疾患診療の実際と今後の展望. Novartis WEB Symposium ～脊椎関節炎と自己炎症性疾患の臨床像に迫る～. 2021.5.25 (WEB配信)
2. 西小森隆太. 皮疹を呈する自己炎症性疾患の診断と治療～症例提示を中心にして～. 第2回自己炎症性疾患フォーラム. 2021.5.31 (WEB配信)
3. 西小森隆太. 自己炎症性疾患アップデート. 第11回QPID九州地区免疫不全症研究会. 2021.9.11 (オンライン開催)
4. 西小森隆太. 家族性地中海熱とパイリン関連自己炎症性疾患. 第32回 中部リウマチ学会 スポンサーシップシンポジウム2. 2021.9.17 (浜松)

## —学会・研究会演題—

### —国内学会—

1. 菅 毅, 島 さほ, 大園秀一, 大石早織, 満尾美穂, 中川慎一郎, 西小森隆太, 田中悠平, 山下裕史朗, 今留謙一. 無脾症にEBウイルス関連血球貪食リンパ組織球症 (EBV-HLH) を合併した1例. 第124回日本小児科学会学術集会. 2021.4.16-18 (京都/WEB・ハイブリッド開催)
2. 松行圭吾, 西小森隆太, 島 さほ, 北城恵史郎, 大園秀一, 渡邊順子, 荒木潤一郎, 財津亜友子, 田中征治, 山下裕史朗, 江頭智子, 富野広通, 高柳俊光, 田代克哉, 岡村 賢, 鈴木民夫. HLHを合併したHermansky-Pudlak症候群2型の1例. 第124回日本小児科学会学術集会. 2021.4.16-18 (京都/WEB・ハイブリッド開催)
3. 木村 拓, 石井隆大, 木村拓郎, 荒木潤一郎, 鍵山慶之, 八戸由佳子, 高瀬隆太, 弓削康太郎, 寺町陽三, 籠手田雄介, 田中征治, 西小森隆太, 須田憲治, 山下裕史朗, 富田尚文. 再栄養後に急性心不全を疑われた6歳摂食障害児の1例. 第124回日本小児科学会学術集会. 2021.4.16-18 (京都/WEB・ハイブリッド開催)
4. 井澤和司, 仁平寛士, 八角高裕, 西小森隆太. 自然免疫が関連する炎症性疾患 自己炎症性疾患と血管炎. 第65回日本リウマチ学会総会・学術集会. 2021.4.26-28 (WEB開催)

5. 古賀琢眞, 日高由紀子, 原田裕美, 林 真樹子, 藤本京子, 山崎聡士, 海江田信二郎, 西小森隆太, 星野友昭, 井田弘明. 自己炎症症候群 PAPA 症候群の新しい亜型 PAB 症候群. 第 65 回日本リウマチ学会総会・学術集会. 2021.4.26-28 (WEB 開催)
6. 前田由可子, 本田吉孝, 井澤和司, 芝 剛, 田中孝之, 中瀬古春奈, 西村啓佑, 向山宙希, 宮本尚幸, 伊佐真彦, 仁平寛士, 柴田洋史, 八角高裕, 西小森隆太. 自己炎症症候群 新規機能解析系による MEFV バリアントの病原性分類. 第 65 回日本リウマチ学会総会・学術集会. 2021.4.26-28 (WEB 開催)
7. 藤本京子, 日高由紀子, 古賀琢眞, 海江田信二郎, 山崎聡士, 中島宗敏, 星野友昭, 西小森隆太, 井田弘明. 周期熱患者における E148Q 変異の意義についての検討. 第 65 回日本リウマチ学会総会・学術集会. 2021.4.26-28 (WEB 開催)
8. 金澤伸雄, 中谷友美, 本田吉孝, 井澤和司, 西小森隆太. PSMB8 の新規変異を伴う中條・西村症候群の幼児例. 第 120 回日本皮膚科学会総会. 2021.6.10-13 (横浜/WEB・ハイブリッド開催)
9. 日吉祐介, 田中征治, 荒木潤一郎, 倉田悟子, 江崎拓也, 財津重友子, 西小森隆太, 山下裕史朗. 放課後児童支援 (学童) 員における昼間尿失禁と夜尿症に関する実態調査. 第 30 回日本小児泌尿器科学会. 2021.7.2-4 (大阪/WEB・ハイブリッド開催)
10. 宮城裕典, 津村直弥, 加藤 健, 安田亮輔, 坂口廣高, 水落建輝, 日吉祐介, 荒木潤一郎, 田中征治, 西小森隆太. 消化器症状がなく浮腫と抗核抗体陽性・低補体血症を契機に診断に至ったループス関連蛋白漏出性胃腸症の小児例. 第 48 回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2021.10.1-3 (長野/WEB・ハイブリッド開催)
11. 岡松由記, 西小森隆太. COVID-19 関連・その他 偶然見つかった無症候の先天性気管支閉鎖症の 1 症例報告. 第 70 回日本アレルギー学会学術大会. 2021.10.8-10 (横浜/WEB・ハイブリッド開催)
12. 大場帆乃佳, 松林 正, 山本雅紀, 高山早紀, 大月寛郎, 本田吉孝, 井澤和司, 西小森隆太. ニューモシスチス・サイトメガロウイルス重複感染を契機に間質性肺炎が顕在化したと考えられた COPA 症候群. 第 53 回日本小児感染症学会総会・学術集会. 2021.10.9-10 (東京/WEB・ハイブリッド開催)
13. 宮城裕典, 田中征治, 加藤 健, 安田亮介, 日吉祐介, 坂口廣高, 荒木潤一郎, 水落建輝, 橋川恵子, 西小森隆太. SLE に蛋白漏出性胃腸症 (PLE) を併発した LUPLE の 1 例. 第 30 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会. 2021.10.15-17 (東京/WEB・ハイブリッド開催)
14. 高山早紀, 松林 正, 山本雅紀, 大月寛郎, 井澤和司, 本田吉孝, 西小森隆太. 新規の病因遺伝子変異を有した COPA 症候群の家族発症例の報告. 第 30 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会. 2021.10.15-17 (東京/WEB・ハイブリッド開催)
15. 仁平寛士, 井澤和司, 浅井 霞, 伊佐真彦, 日衛嶋栄太郎, 小原 収, 西小森隆太, 八角高裕. 血管炎 高安動脈炎全国疫学調査結果と Monogenic Vasculitis アデノシンデアミナーゼ 2 (ADA2) 欠損症. 第 30 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会. 2021.10.15-17 (東京/WEB・ハイブリッド開催)
16. 前田由可子, 日衛嶋栄太郎, 井澤和司, 道倉雅仁, 石川秀樹, 中村好一, 西小森隆太, 伊藤秀一, 八角高裕. 本邦初の全国疫学調査により明らかとなった慢性再発性多発性骨髄炎 (CRMO) の患者数と臨床像. 第 30 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会. 2021.10.15-17 (東京/WEB・ハイブリッド開催)
17. 伊佐真彦, 向井康治朗, 仁平寛士, 本田吉孝, 日衛嶋栄太郎, 井澤和司, 滝田順子, 齋藤 潤, 西小森隆太, 笹原洋二, 田口友彦, 八角高裕. 免疫不全と日和見感染症 CDC42 C-term 変異体はゴルジ体へ集積して pyrin インフラマソームの過剰活性化を引き起こす. 第 48 回日本臨床免疫学会総会. 2021.10.28-30 (東京/WEB・ハイブリッド開催)
18. 岡松由記, 西小森隆太. 喘息患者の入院数の 10 年間のまとめ. 第 58 回日本小児アレルギー学会学術大会.

2021.11.13-14 (横浜/WEB・ハイブリッド開催)

## —研究費・受賞—

1. 西小森隆太. AMED・難治性疾患実用化研究事業「原発性免疫不全症・自己炎症性疾患・早期発症型炎症性腸疾患の臨床ゲノム情報を連結した患者レジストリの構築研究」(研究開発分担者・継続) 76万円
2. 西小森隆太. 厚生労働科研費・難治性疾患政策研究事業「自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、移行医療体制の構築、診療ガイドライン確立に関する研究」(研究代表者・継続) 409万円
3. 西小森隆太. 厚生労働科研費・難治性疾患政策研究事業「原発性免疫不全症候群の診療ガイドライン改訂、診療提供体制・移行医療体制構築、データベースの確立に関する研究」(研究分担者・継続) 100万円
4. 西小森隆太. 厚生労働科研費・免疫・アレルギー疾患政策研究事業「難治性・希少免疫疾患におけるアンメットニーズの把握とその解決に向けた研究」(研究分担者・継続) 代表者一括計上
5. 西小森隆太. 文部省科学研究費(基盤研究C)「細胞工学並びにオミックス解析を用いたTNF受容体周期性症候群の診療基盤構築」(研究代表者・継続) 100万円
6. 西小森隆太. 文部省科学研究費(基盤研究C)「小児期発症自己免疫性肝疾患の新生児バイオマーカーと病因遺伝子の探索」(研究分担者・新規) 10万円
7. 西小森隆太. 文部省科学研究費(基盤研究C)「細胞工学並びにオミックス解析を用いたTNF受容体周期性症候群の診療基盤構築」(研究代表者・継続) 100万円
8. 西小森隆太. 武田科学振興財団「獲得免疫の活性化を伴う自己炎症性疾患病態の解明」(研究分担者・新規) 900万円

## 代謝・遺伝

### —論文—

1. Kido J, Matsumoto S, Häberle J, Nakajima Y, Wada Y, Mochizuki N, Murayama K, Lee T, Mochizuki H, Watanabe Y, Horikawa R, Kasahara M, Nakamura K. Long-term outcome of urea cycle disorders: Report from a nationwide study in Japan. *J Inher Metab Dis*. 2021 Jul;44(4):826-837. doi: 10.1002/jimd.12384. Epub 2021 Apr 18. PubMed PMID: 33840128.
2. Kawano G, Yokochi T, Nishikomori R, Watanabe Y, Ohbu K, Takahashi Y, Shintaku H, Matsuishi T. Case Report: Rituximab Improved Epileptic Spasms and EEG Abnormalities in an Infant With West Syndrome and Anti-NMDAR Encephalitis Associated With APECED. *Front Neurol*. 2021;12:679164. doi: 10.3389/fneur.2021.679164. eCollection 2021. PubMed PMID: 34093423; PubMed Central PMCID: PMC8176955.
3. Okano Y, Okamoto M, Yazaki M, Inui A, Ohura T, Murayama K, Watanabe Y, Tokuhara D, Takeshima Y. Analysis of daily energy, protein, fat, and carbohydrate intake in citrin-deficient patients: Towards prevention of adult-onset type II citrullinemia. *Mol Genet Metab*. 2021 May;133(1):63-70. doi: 10.1016/j.ymgme.2021.03.004. Epub 2021 Mar 10. PubMed PMID: 33741270.
4. Nobuhiro Kato, Masatoshi Haruta, Ryuta Takase, Yoriko Watanabe, Shigeo Yoshida. Ultra-widefield and anterior-segment optical coherence tomography in Alagille syndrome. *American Journal of Ophthalmology Case Reports*, 2021, 101213, ISSN 2451-9936, <https://doi.org/10.1016/j.ajoc.2021.101213>.
5. Okamoto M, Okano Y, Okano M, Yazaki M, Inui A, Ohura T, Murayama K, Watanabe Y, Tokuhara D, Takeshima Y. Food Preferences of Patients with Citrin Deficiency. *Nutrients*. 2021 Sep 6;13(9):3123. doi:

10.3390/nu13093123.

6. Kido J, Matsumoto S, Ito T, Hirose S, Fukui K, Kojima-Ishii K, Mushimoto Y, Yoshida S, Ishige M, Sakai N, Nakamura K. Physical, cognitive, and social status of patients with urea cycle disorders in Japan. *Mol Genet Metab Rep.* 2021 Feb 7;27:100724. doi: 10.1016/j.ymgmr.2021.100724.

#### —著書—

1. 渡邊順子. 別冊日本臨床No.19 呼吸器症候群(第3版) —その他の呼吸器疾患を含めて—III. VII 各種疾患にみられる呼吸器病変3. 先天性(遺伝性)代謝疾患(3) ムコ多糖症 366-370 株式会社日本臨床社(東京) 2021年10月31日発行. 編者 長谷川好規ら. 総ページ418.
2. 渡邊順子. 臨床遺伝学小児領域 4. 小児期の診察とマネジメント C. 社会福祉資源. 2021;55-60 診断と治療社(東京) 2021年11月12日発行. 監修 診療遺伝専門医制度委員会. 総ページ139.
3. 渡邊順子. 今日の小児治療指針 第17版 Fabry病 医学書院(東京) 2020年12月1日発行 総ページ980.
4. 渡邊順子. 小児疾患診療のための病態生理2 改定第6版 小児内科 2021Vol.53. 増刊号 東京医学社(東京) 小児内科編集委員会編集. 総ページ1111.

#### —学会・研究会演題—

##### —国際学会

採択ポスターとして口頭発表あり

1. Kaori Fukui, Tomoyuki Takahashi, Hitomi Matsunari, Ayuko Uchimura, Hiroshi Nagashima, Naotada Ishihara, Tatsuyuki Kakuma, Yoriko Watanabe, Yushiro Yamashita, and Makoto Yoshino. A Novel Therapeutic Strategy for Hyperammonemia Targeting Glutaminolysis. 5th International Symposium on Urea Cycle Disorders 2021/9/23 (Virtual)

##### —国内学会

1. 高瀬隆太, 鍵山慶之, 寺町陽三, 籠手田雄介, 弓削康太郎, 渡邊順子, 須田憲治, 山下裕史朗. 多発性の体肺動脈側副血管を合併するKCNK1遺伝子変異による難治性てんかんの1例. 第57回日本小児循環器学会総会・学術集会. 2021.7.10(奈良Hybrid開催)
2. 荒木潤一郎, 日吉祐介, 田代恭子, 福井香織, 渡邊順子, 坂本信一, 田中征治. 代謝性小児尿路結石の診断における尿ガスクロマトグラフィ/質量分析(尿GC/MS)の有用性. 第31回日本小児泌尿器学会総会・学術集会. 2021.7.2-7.4(大阪Hybrid開催)
3. 福井香織, 高橋知之, 渡邊順子, 芳野 信. ジメチル $\alpha$ -ケトグルタル酸はグルタミン酸デヒドロゲナーゼのフラックス抑制によりアンモニアを低下させる. 第62回日本先天代謝異常学会総会・学術集会. 2021.11.4(名古屋Hybrid開催)
4. 高瀬隆太, 福井香織, 須田憲治, 渡邊順子. 脂肪酸代謝異常症を疑うものの診断に難渋しているNBS陽性例 An infant with cardiomyopathy and the acylcarnitine profile of glutaric aciduria type II of unknown etiology. 日本先天代謝異常学会・学術集会. 2021.11.4-11.6(名古屋.Hybrid開催)
5. 早坂 清, 渡邊順子, 沼倉周彦, 田原利行, 福井香織, 鳥村拓司, 廣松雄治, 友常 健, 山川光徳. シトリン欠損症: 糖尿病併発時における糖の毒性について. Diabetes mellitus exacerbates citrin deficiency via glucose toxicity. 日本先天代謝異常学会・学術集会. 2021.11.4-11.6(名古屋. Hybrid開催)
6. 高瀬隆太, 渡邊順子, 徳富謙太郎, 鍵山慶之, 福井香織, 寺町陽三, 籠手田雄介, 家村素史, 須田憲治, 山下裕史朗. 複雑心奇形術後に閉塞性黄疸が顕在化したAlagille症候群の1例. 第44回日本小児遺伝学会総会・学術集会. 2021.11.12-11.14(Web開催)

7. 大園秀一, 中川慎一郎, 渡邊順子, 主藤朝也, 沼田早苗, 折岡健太郎, 鳥村託司. 当院におけるがんゲノム診療の経験. 第63回日本小児血液・がん学会. 2021.11.25-27 (大阪・Web開催)

## —研究費・受賞—

1. 分担研究者：渡邊順子. 令和3年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業（難治性疾患政策研究事業）「ライソゾーム病（ファブリ病含む）に関する調査研究」責任者：奥山虎之
2. 福井香織. 令和3年度 科学研究費助成事業若手研究（B）「体タンパク質の同化・異化調節機構への介入による高アンモニア血症の新規治療薬の開発」
3. 高瀬隆太. 令和3年度 文部科学省科学研究費若手研究「エピゲノム解析による免疫グロブリン療法抵抗性川崎病の機序解明」

## 血液

### —論文—

1. Nagayama A, Ashida K, Watanabe M, Moritaka K, Sonezaki A, Kitajima Y, Takahashi H, Yoshinobu S, Iwata S, Yasuda J, Hasuzawa N, Ozono S, Motomura S, Nomura M. Case Report: Metreleptin and SGLT2 Inhibitor Combination Therapy Is Effective for Acquired Incomplete Lipodystrophy. *Front Endocrinol (Lausanne)* 2021;12:69099 doi: 10.3389/fendo
2. Ozono S, Yano S, Oishi S, Mitsuo M, Nakagawa S, Toki T, Terui K, Ito E. A Case of Congenital Leukemia With MYB-GATA1 Fusion Gene in a Female Patient. *J Pediatr Hematol Oncol* 2022;44:e250-e252 doi: 10.1097/MPH.0000000000002119
3. Oda K, Ito Y, Yamada A, Yutani S, Itoh K, Ozono S. Evaluation of the immunological response of patients with childhood cancer treated with the personalized peptide vaccine for refractory soft tissue tumor: Four case series. *Kurume Med J* 2021 (in press)
4. Honda Y, Muramatsu H, Nanjo Y, Hirabayashi S, Meguro T, Yoshida N, Kakuda H, Ozono S, Wakamatsu M, Moritake H, Yasui M, Sano H, Manabe A, Sakashita K. A retrospective analysis of azacitidine treatment for juvenile myelomonocytic leukemia. *Int J Hematol* 2021 Oct 29. doi: 10.1007/s12185-021-03248-x. Epub ahead of print.
5. 久保雄太郎, 大園秀一, 大石早織, 中川慎一郎, 満尾美穂, 山下裕史朗. 治療開始直後に顔面神経麻痺を合併した成熟B細胞性急性リンパ性白血病の1例. *小児科臨床*. 2021;74:405-409.
6. 三宅亮輔, 大園秀一, 大石早織, 中川慎一郎, 満尾美穂, 山下裕史朗. 白血球173万で発症し交換輸血により救命した乳児急性リンパ性白血病の1例. *日本小児血液・がん学会雑誌*. 2021;58:35-39.
7. 東矢俊一郎, 古賀友紀, 岡本康裕, 野村優子, 中山秀樹, 大園秀一, 本田裕子, 興柁雅彦, 西 眞範, 右田昌宏, 興柁健作, 船越康智, 末延聡一, 齋藤祐介, 新小田雄一, 比嘉猛, 百名伸之, 唐川修平, 武本淳吉, 大賀正一. COVID19パンデミック下における小児がん診療の現状 九州・沖縄ブロック小児がん連携病院における調査. *日本小児血液・がん学会雑誌*. 2021;58(2):132-137.

### —著書—

1. 大園秀一, 佐藤聡美, 前林勝也. I -2. 認知機能 In小児がん治療後の長期フォローアップガイド. JCCG長期フォローアップ委員会 長期フォローアップガイドライン作成ワーキンググループ; クリニコ出版: 責任編集 前田尚子, 2021年9月.
2. 大園秀一, 藤 浩, 守本倫子. I -7. 耳・聴覚 In小児がん治療後の長期フォローアップガイド. JCCG長期

フォローアップ委員会 長期フォローアップガイドライン作成ワーキンググループ；クリニコ出版：責任編集 前田尚子，2021年9月。

3. 大園秀一，斎藤章治. Ⅲ-7. 若年性骨髄単球性白血病In小児がん治療後の長期フォローアップガイド. JCCG長期フォローアップ委員会 長期フォローアップガイドライン作成ワーキンググループ；クリニコ出版：責任編集 前田尚子，2021年9月.
4. 大園秀一，上別府圭子. Ⅳ-5. 精神・心理 In小児がん治療後の長期フォローアップガイド. JCCG長期フォローアップ委員会 長期フォローアップガイドライン作成ワーキンググループ；クリニコ出版：責任編集 前田尚子，2021年9月.
5. 大賀正一，米田光宏，大園秀一，滝田順子. 小児血液・がん～特集 小児科サブスペシャリティ領域の専門医制度のこれから 4～. 小児科 2021;62(12):1510-1515.

## —講演・シンポジウム—

### —国内講演

1. 松尾陽子. 血友病保因者問題. 中外製薬web 2021.1.20.
2. 松尾陽子. 血友病保因者の現状と課題～血友病は男性だけの疾患ではありません～山陰血友病懇話会. 武田薬品web 2021.2.24.
3. 大園秀一. 小児がん経験者の生涯フォローアップ. がんの子どもを守る会九州北支部 交流会基調講演. Web開催 2021.3.6.
4. 松尾陽子. 小児血友病治療の現状と課題～薬剤選択の実際と親の関わり～. 2021.4.11. CSL ベーリング web.
5. 大園秀一. ～変わりゆく日常～コロナ禍がもたらした小児がんの診療・研究・教育への影響. 子供を地域で支える会・筑豊 Web開催. 2021.4.20.
6. 松尾陽子. ジビイの適正使用により出血コントロールの重要性を再認識した血友病性関節症の症例. バイエル薬品全国webカンファレンス. 2021.4.23.
7. 松尾陽子. 血友病保因者を支援する医療体制の構築を目指して. つなぐHemophilia 講演会. 中外製薬web. 2021.6.9.
8. 松尾陽子. 血友病における周産期医療～当院の血友病周産期管理の経験～第31回日本産婦人科新生児血液学会学術集会ノボルディスクファーマ共催セミナー. 2021.6.6.
9. 大園秀一. 小児がん～AYA世代がんの課題とこれから～. 2021 Japan Cancer Forum. 2021.8.21 Web配信.
10. 松尾陽子. 血友病保因者を支援する医療体制の構築を目指して. Hemophilia Clinical Symposium. 2021.9.7. CSL ベーリング web.
11. 松尾陽子. 個別化治療による治療モチベーションの向上～ジビイの使用例から～. Bayer Hemophilia Web Conference. 2021.9.15.
12. 松尾陽子. 血友病B の治療選択～オルプロリクスのP U Psデータの紹介～サノフィ web セミナー. 2021.10.20.
13. 松尾陽子. 血友病保因者を包括的に支援するために必要なこと～当院における周産期管理の取り組み～血友病クリニカルセミナー ノボルディスクファーマweb. 2021.11.25.

14. 大園秀一. 在宅医と大学病院の並行診療により終末期を支えた思春期再発脳腫瘍の男子例. 筑後緩和ケア勉強会. Hybrid開催(久留米市) 2021.11.30.
15. 松尾陽子. 血友病患者を取り巻く課題. 西日本小児血友病を考える会in熊本(web). 2021.12.15.

## —学会・研究会演題—

### —国際学会

1. Shuichi Ozono, Kazuo Sakashita, Nao Yoshida, Harumi Kakuda, Kenichiro Watanabe, Miho Maeda, Yasushi Ishida, Atsushi Manabe, Takashi Taga. A nation-wide survey of late effects in survivors of juvenile myelomonocytic leukemia in Japan: 2nd Annual Meeting of the European Society for Pediatric Oncology (SIOP EUROPE 2021) 2021.4.28 Virtual Meeting.

### —国内学会

1. 大武瑞樹, 山下哲矢, 大石早織, 満尾美穂, 中川慎一郎, 大園秀一. 胞巣型横紋筋肉腫治療後に発症した縦隔原発Tリンパ芽球性リンパ腫の男児例: 第27回九州山口小児血液・免疫・腫瘍研究会. 2021.1.9(大分市・Web学会)
2. 満尾美穂, 大石早織, 中川慎一郎, 松尾陽子, 大園秀一, 山下裕史朗. 脊椎圧迫骨折で発症した小児急性リンパ性白血病の一例 白血病治療と骨密度の推移. 第124回日本小児科学会学術集会. 2021.4.16-18(京都市・Web開催)
3. 大石早織, 満尾美穂, 中川慎一郎, 大園秀一, 山下裕史朗. 非典型的な斜頸で発見された脳腫瘍の2例. 第124回日本小児科学会学術集会. 2021.4.16-18(京都市・Web開催)
4. 篠崎由稀(久留米大学 医学部), 大園秀一, 大石早織, 満尾美穂, 中川慎一郎, 山下裕史朗. 小児血液・腫瘍患者における処置時の鎮静の安全性. 第124回日本小児科学会学術集会. 2021.4.16-18(京都市・Web開催)
5. 中嶋大介, 小牧 哲, 中村英夫, 森岡基浩, 向井純平, 長井孝二郎, 中川慎一郎, 大園秀一. 髄芽腫に対する開頭腫瘍摘出術後に可逆性後頭葉白質脳症 (posterior reversible encephalopathy syndrome) を呈した一例. 第49回日本小児神経外科学会 学術集会. 2021.6.4-5(福島市)
6. 松尾陽子. 血友病保因者の実態調査. 研究助成受賞講演. 第31回日本産婦人科新生児血液学会. 2021.6.5(松本市・web開催)
7. 石井隆大, 吉塚梯子, 山下大輔, 大園秀一, 永光信一郎, 山下裕史朗. 多数の専門分野を有する施設における小児リエゾンの役割. 第39回日本小児心身医学会学術集会. 2021.9.23-25(Web開催)
8. 大園秀一, 中川慎一郎, 渡邊順子, 主藤朝也, 沼田早苗, 折岡健太郎, 鳥村拓司. 当院におけるがんゲノム診療の経験. 第63回日本小児血液・がん学会学術集会. 2021.11.25-27(大阪市・Web開催)
9. 満尾美穂, 島田 翔, 大石早織, 中川慎一郎, 松尾陽子, 酒井さやか, 大園秀一, 山下裕史朗. 医療者側が提示した治療に対し家族が拒否を示した小児がん患者4例への対応とチーム医療の意義. 第63回日本小児血液・がん学会学術集会. 2021.11.25-27(大阪市・Web開催)

### —研究会・学会地方会

1. 宮城裕典, 阪田健祐, 島田 翔, 満尾美穂, 中川慎一郎, 大園秀一, 向井純平, 長井孝二郎, 山下裕史朗. 寛解導入療法中に脳静脈洞血栓症を合併した急性リンパ性白血病の1例. 第515回日本小児科学会福岡地方会例会. 2021.12.11(福岡市)

### —その他(院内勉強会)

1. 大園秀一. AYA世代患者さんをチーム医療で支える. 久留米大学病院緩和ケアチーム勉強会. 2021.9.2 Web配信.

## —研究費・受賞—

1. 松尾陽子. 科研費 若手研究:血友病保因者の心身のケアを目的とした包括的診療を可能とする連携システムの構築 (2021.4.1-2024.3.31)、3,770 千円
2. 大園秀一. 日本医療研究開発機構研究費 (革新的がん医療実用化研究事業)「若年性骨髄単球性白血病 (JMML) に対する標準的化学療法の確立を目指した第 2 相臨床試験」の開発 (研究開発代表者 村松 秀城) 分担研究者 (2021.4.1-2024.3.31) 400 千円

## —その他—

1. 大園秀一. 厚生労働省委託事業 令和 2 年度 4 回 小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップに関する研修会 (LCAS) ファシリテーター 2021.1.24 (Web 研修会)
2. 大園秀一. 厚生労働省委託事業 令和 2 年度第 1 回 小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップに関する研修会 (LCAS) アドバンスト ファシリテーター 2021.3.13 (Web 研修会)
3. 大園秀一. 小児血液・がん学会主催 令和 3 年度 1 回 小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップに関する研修会 (LCAS) ファシリテーター 2021.8.28 (札幌市・Web 研修会)
4. 大園秀一. 小児血液・がん学会主催 令和 3 年度 2 回 小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップに関する研修会 (LCAS) ファシリテーター 2021.10.2 (福岡市)
5. 大園秀一. 小児血液・がん学会主催 令和 3 年度 3 回 小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップに関する研修会 (LCAS) ファシリテーター 2021.12.25 (大阪市・Web 研修会)

## 消化器

### —論文—

1. Sakaguchi H, Mizuochi T, Haruta M, Takase R, Yoshida S, Yamashita Y, Nishikomori R. AIRE Gene Mutation Presenting at Age 2 Years With Autoimmune Retinopathy and Steroid-Responsive Acute Liver Failure: A Case Report and Literature Review. *Front Immunol.* 2021 May 28;12:687280.
2. Ishihara J, Arai K, Kudo T, Nambu R, Tajiri H, Aomatsu T, Abe N, Kakiuchi T, Hashimoto K, Sogo T, Takahashi M, Etani Y, Yasuda R, Sakaguchi H, Konishi KI, Obara H, Kakuma T, Yamashita Y, Mizuochi T. Serum Zinc and Selenium in Children with Inflammatory Bowel Disease: A Multicenter Study in Japan. *Dig Dis Sci.* 2021 Jun 8. doi: 10.1007/s10620-021-07078-z. Online ahead of print.
3. Jonas MM, Rhee S, Kelly DA, Del Valle-Segarra A, Feiterna-Sperling C, Gilmour S, Gonzalez-Peralta RP, Hierro L, Leung DH, Ling SC, Lobzin Y, Lobritto S, Mizuochi T, Narkewicz MR, Sabharwal V, Wen J, Kei Lon H, Marcinak J, Topp A, Tripathi R, Sokal E. Pharmacokinetics, Safety, and Efficacy of Glecaprevir/Pibrentasvir in Children With Chronic HCV: Part 2 of the DORA Study. *Hepatology.* 2021 Jul;74(1):19-27.
4. Cho Y, Kabata D, Ehara E, Yamamoto A, Mizuochi T, Mushiake S, Kusano H, Kuwae Y, Suzuki T, Uchida-Kobayashi S, Morikawa H, Amano-Teranishi Y, Kioka K, Jogo A, Isoura Y, Hamazaki T, Murakami Y, Tokuhara D. Assessing liver stiffness with conventional cut-off values overestimates liver fibrosis staging in patients who received the Fontan procedure. *Hepatol Res.* 2021 May;51(5):593-602.
5. Kimura A, Mizuochi T, Takei H, Ohtake A, Mori J, Shinoda K, Hashimoto T, Kasahara M, Togawa T, Murai T, Iida T, Nittono H. Bile Acid Synthesis Disorders in Japan: Long-Term Outcome and Chenodeoxycholic Acid Treatment. *Dig Dis Sci.* 2021 Nov;66(11):3885-3892.
6. Konishi KI, Mizuochi T, Takei H, Yasuda R, Sakaguchi H, Ishihara J, Takaki Y, Kinoshita M, Hashizume N,

Fukahori S, Shoji H, Miyano G, Yoshimaru K, Matsuura T, Sanada Y, Tainaka T, Uchida H, Kubo Y, Tanaka H, Sasaki H, Murai T, Fujishiro J, Yamashita Y, Nio M, Nittono H, Kimura A. A Japanese prospective multicenter study of urinary oxysterols in biliary atresia. *Sci Rep.* 2021 Mar 2;11(1):4986.

7. Mizuochi T, Arai K, Kudo T, Nambu R, Tajiri H, Aomatsu T, Abe N, Kakiuchi T, Hashimoto K, Sogo T, Takahashi M, Etani Y, Takaki Y, Konishi KI, Ishihara J, Obara H, Kakuma T, Kurei S, Yamashita Y, Mitsuyama K. Diagnostic accuracy of serum proteinase 3 antineutrophil cytoplasmic antibodies in children with ulcerative colitis. *J Gastroenterol Hepatol.* 2021 Jun;36(6):1538-1544.
8. Fujisaki T, Matsuishi T, Kamizono J, Amamoto M, Mizuochi T. Crohn's disease and chronic recurrent multifocal osteomyelitis in a Japanese boy. *Pediatr Int.* 2021 Jan;63(1):115-117.
9. 山川祐輝, 水落建輝, 坂口廣高, 石原 潤, 山下裕史朗. 小児炎症性腸疾患におけるメサラジン不耐症. *日本小児科学会雑誌.* 2021;125(4):607-611.
10. 杉野嘉彦, 高木祐吾, 古瀬昭夫, 石原 潤, 坂口廣高, 小西健一郎, 水落建輝, 草野弘宣, 谷川 健, 鹿毛政義, 右田昌宏. ウルソデオキシコール酸が奏効した自己免疫性肝炎—原発性硬化性胆管炎オーバーラップ症候群の一女兒例. *日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌* 2020;34(2):88-94.
11. 徳原大介, 江原英治, 趙 有季, 山本 晃, 磯浦喜晴, 義之愛子, 草野弘宣, 水落建輝, 桑江優子, 木岡清英, 村上洋介. FALD (Fontan-associated liver disease) Fontan-associated liver disease (FALD) を中心とした Fontan 術後消化器合併症における多科連携の重要性. *肝胆膵.* 2021;82(3):441-449.

#### —著書—

1. Tatsuki Mizuochi, Kenichiro Konishi. *Introduction to Biliary Atresia-Biomarkers of Biliary Atresia.* Springer book 2021.
2. 水落建輝 (分担編集). *難治性下痢症診断の手引き—小児難治性下痢症診断アルゴリズムとその解説—.* 診断と治療社 2021 年 10 月 20 日初版.
3. 水落建輝 (分担執筆). *はじめて学ぶ 子どもの下痢・便秘.* 診断と治療社 2021 年 12 月 3 日初版.
4. 水落建輝. *特発性新生児肝炎. 今日の小児治療指針 第 17 版:*470.
5. 水落建輝. *専門家による私の治療 ウィルソン病.* 日本医事新報. 2021;5059:44-45.
6. 坂口廣高, 水落建輝. *IV. 消化器疾患 1. 腹痛. 小児疾患診療のための病態生理 1 改訂第 6 版. 小児内科. 2020 年 52 巻増刊号.*
7. 坂口廣高, 水落建輝. *症候 26 吐血, 咯血. クリニカルガイド小児科 専門医の診断・治療第 1 版:*191-195.
8. 安田亮輔, 坂口廣高, 水落建輝. *消化器に関する病態 嘔吐. 小児科診療.* 2021;84:264-267.
9. 安田亮輔, 坂口廣高, 水落建輝. *各病態における輸液の考え方 消化器疾患 急性胃腸炎. 小児内科.* 2021; 53(4):618-621.
10. 草野弘宣, 谷川 健, 鹿毛政義, 水落建輝, 秋葉 純, 矢野博久. *新生児期・乳児期の胆汁うっ滞性疾患の病理. 診断病理.* 2021;38(1):1-10.

#### —講演・シンポジウム—

##### —国際学会・研究会

1. Tatsuki Mizuochi. Educational lecture: Cholestatic and metabolic liver diseases. Bile acid metabolic disorders

in Asia-Pacific region: the importance of early diagnosis. 2021 APPSPGHAN Hepatology Masterclass. 2021.9.11 (Hybrid, Taipei)

#### —国内学会・研究会

1. 水落建輝. スポンサーセミナー1 (共催 アツヴィ合同会社). 明日からの診療に役立つ小児 B 型・C 型肝炎の最新情報. 第 17 回日本小児栄養消化器肝臓学会卒後教育セミナー. 2021.1.24 (Web)
2. 水落建輝. シンポジウム2「多施設研究のススメ」. 総論：なぜ多施設研究が必要か？どのように展開するか？. 第 48 回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2021.10.1-3 (Hybrid, 松本)
3. 水落建輝. ランチョンセミナー2 (共催 ノーベルファーマ株式会社/株式会社メディパルホールディングス). 亜鉛と小児消化器肝臓病～IBDとWilson病を中心に～. 第 48 回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2021.10.1-3 (Hybrid, 松本)
4. 加藤 健, 津村直弥, 安田亮輔, 坂口廣高, 白濱裕子, 有永照子, 水落建輝. ワークショップ1：原因不明の胆汁うっ滞症の診断. 良性反復性肝内胆汁うっ滞症の臨床・遺伝学的特徴と治療. 第 48 回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2021.10.1-3 (Hybrid, 松本)

#### —その他

1. 水落建輝. 小児IBDの特徴とBioの現状. 武田薬品工業 九州地区社員向け講演会. 2021.3.10 (Web)
2. 水落建輝. 小児IBDの特徴と治療. EA ファーマ株式会社 九州地区社員向け講演会. 2021.8.19 (Web)
3. 水落建輝. 小児UCとアダリムマブ～小児UC国際試験結果を踏まえて～. 筑後地区IBD研究会 ヒュミラUC適応追加記念講演会. 2021.11.18 (Hybrid, 久留米)
4. 水落建輝. 小児潰瘍性大腸炎治療の課題とヒュミラの有用性～ヒュミラ小児潰瘍性大腸炎臨床試験結果から～. HUMIRA IBD Forum 2021 in Fukuoka 潰瘍性大腸炎 用法及び用量変更・追加 記念講演会. 2021.11.20 (Hybrid, 福岡)
5. 水落建輝. 小児・思春期IBD診療のコツと最新知見. 第 12 回炎症性腸疾患検討会 香川. 2021.11.25 (Hybrid, 高松)
6. 水落建輝. 小児UC治療の最前線. 第 2 回北九州UCセミナー. 2021.12.23 (Hybrid, 小倉)

#### —学会・研究会演題—

##### —国際学会

1. Mizuochi T, Sakaguchi H, Konishi K, Yasuda R, Kinoshita M, Fukahori S, Shoji H, Yoshimaru K, Matsuura T, Sanada Y, Tainaka T, Uchida H, Sasaki H, Iwama I, Fujishiro J, Nio M. Serum matrix metalloproteinase-7 in Japanese infants with biliary atresia. The Liver Meeting 2021. 2021.11.12-15 (Web, USA)

##### —国内学会

1. 水落建輝, 武井 一, 大竹 明, 森 潤, 篠田邦大, 橋本卓史, 笠原群生, 戸川貴夫, 入戸野博, 木村昭彦. 本邦における先天性胆汁酸代謝異常症の長期予後. 第 124 回日本小児科学会学術集会. 2021.4.16-18 (Hybrid, 京都)
2. 安田亮輔, 坂口廣高, 水落建輝, 山下裕史朗. ジアミノジフェニルスルホンが消化器症状に奏効した難治性IgA血管炎の小児2例. 第 124 回日本小児科学会学術集会. 2021.4.16-18 (Hybrid, 京都)
3. 坂口廣高, 水落建輝, 小西健一郎, 安田亮輔, 木下正啓, 岩間 達, 箕輪 圭, 東海林宏道, 山下裕史朗. 胆道閉鎖症における血清MMP-7の有用性：全国多施設研究. 第 124 回日本小児科学会学術集会. 2021.4.16-18 (Hybrid, 京都)

4. 山川祐輝, 水落建輝, 坂口廣高, 加藤 健, 白濱裕子, 安田亮輔, 石原 潤, 山下裕史朗. 小児炎症性腸疾患におけるメサラジン不耐症の臨床像. 第124回日本小児科学会学術集会. 2021.4.16-18 (Hybrid, 京都)
5. 大津生利衣, 水落建輝, 安田亮輔, 加藤 健, 白濱裕子, 坂口廣高, 石原 潤, 山下裕史朗. 小児炎症性腸疾患におけるチオプリン製剤の用量非依存性副作用の臨床像. 第124回日本小児科学会学術集会. 2021.4.16-18 (Hybrid, 京都)
6. 水落建輝, 岩間 達, 乾あやの, 高木祐吾, 石毛 崇, 虫明聡太郎, 村上 潤, 徳原大介, 伊藤孝一, 加藤 健, 安田亮輔, 田尻 仁. 12~17歳の小児C型肝炎に対するグレカプレビル・ピブレンタスピルの有効性と安全性: 前方視的多施設観察研究. 第48回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2021.10.1-3 (Hybrid, 松本)
7. 坂口廣高, 津村直弥, 加藤 健, 安田亮輔, 白濱裕子, 水落建輝. ウステキヌマブが難治性肛門病変に奏効したCrohn病の小児例. 第48回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2021.10.1-3 (Hybrid, 松本)
8. 安田亮輔, 坂口廣高, 深堀 優, 吉丸耕一郎, 松浦俊治, 眞田幸弘, 藤代 準, 田井中貴久, 内田広夫, 佐々木英之, 仁尾正記, 水落建輝. 血清MMP-7は胆道閉鎖症の肝移植予測マーカーとなりうるか?. 第48回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2021.10.1-3 (Hybrid, 松本)
9. 津村直弥, 加藤 健, 安田亮輔, 坂口廣高, 白濱裕子, 水落建輝. 小児炎症性腸疾患におけるインフリキシマブの一次無効と二次無効の臨床像. 第48回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2021.10.1-3 (Hybrid, 松本)
10. 宮城裕典, 津村直弥, 加藤 健, 安田亮輔, 坂口廣高, 水落建輝. 消化器症状がなく浮腫と抗核抗体陽性・低補体血症を契機に診断に至ったループス関連蛋白漏出性胃腸症の小児例. 第48回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2021.10.1-3 (Hybrid, 松本)
11. 水落建輝, 岩間 達, 乾あやの, 伊藤嘉規, 高木祐吾, 石毛 崇, 虫明聡太郎, 三上 仁, 村上 潤, 徳原大介, 菱木はるか, 伊藤孝一, 加藤 健, 安田亮輔, 坂口廣高, 田尻 仁. 10代のC型肝炎に対するグレカプレビル・ピブレンタスピルの有効性と安全性: 前方視的多施設観察研究. 第53回日本小児感染症学会. 2021.10.9-10 (Hybrid, 東京)
12. 津村直弥, 水落建輝, 加藤 健, 安田亮輔, 坂口廣高, 白濱裕子, 吉岡慎一郎, 竹田津英稔, 光山慶一. 小児炎症性腸疾患におけるインフリキシマブの一次・二次無効の臨床像: 単施設10年の成績. 第12回日本炎症性腸疾患学会. 2021.11.26-27 (Hybrid, 東京)
13. 吉岡慎一郎, 水落建輝, 荒木俊博, 鶴田耕三, 森田 俊, 吉村哲広, 桑木光太郎, 竹田津英稔, 江崎幹宏, 平井郁仁, 光山慶一. 新規バイオマーカー ACP353/PR3ANCAの成人及び小児 IBD診断における有用性: 多施設共同研究. 第12回日本炎症性腸疾患学会. 2021.11.26-27 (Hybrid, 東京)
14. 萩原真一郎, 阿部直紀, 村越孝次, 原 朋子, 石毛 崇, 清水泰岳, 水落建輝, 垣内俊彦, 国崎玲子, 松岡 諒, 近藤宏樹, 中山佳子, 角田文彦, 木村武司, 本間 仁, 平野大志, 猿田雅之, 吉田 功, 岡安 勲, 恵谷ゆり. 小児潰瘍性大腸炎の粘膜炎症評価におけるPGE-MUMと便中カルプロテクチンの比較検討. 第12回日本炎症性腸疾患学会. 2021.11.26-27 (Hybrid, 東京)

#### 一研究会・学会地方会

1. 加藤 健, 津村直弥, 松行圭吾, 宮崎裕之, 徳富謙太郎, 山下大輔, 阪田健祐, 越智悠一, 松下美由紀, 横地賢興, 財津亜友子, 今城 透, 日高智子, 河野 剛, 秋田幸大, 大部敬三, 水落建輝. 当院における2020年の小児サルモネラ感染症入院例の臨床像. 第17回日本小児消化管感染症研究会. 2021.2.6 (Web, 久留米)
2. 大津生利衣, 安田亮輔, 加藤 健, 白濱裕子, 坂口廣高, 石原 潤, 水落建輝. 小児炎症性腸疾患におけるチオプリン製剤の用量非依存性副作用の臨床像. 第21回日本小児IBD研究会. 2021.2.7 (Web, 大阪)
3. 新井勝大, 南部隆亮, 村越孝次, 国崎玲子, 工藤孝広, 水落建輝, 角田文彦, 齋藤 武, 岩田直美, 加藤沢

子, 井上幹大, 熊谷秀規, 野口篤子, 石毛 崇, 萩原真一郎, 佐々木美香, 田尻 仁, 吉年俊文, 西亦繁雄, 青松友槻, 望月貴博, 戸板成昭, 清水泰岳, 岩間 達, 平野友梨, 清水俊明, 日本小児炎症性腸疾患レジストリ研究グループ. 日本小児炎症性腸疾患レジストリ研究2020: 診断時情報. 第21回日本小児IBD研究会. 2021.2.7 (Web, 大阪)

4. 安田亮輔, 坂口廣高, 津村直弥, 加藤 健, 白濱裕子, 高瀬隆太, 草野弘宣, 西小森隆太, 水落建輝. 早期に急性肝不全で発症した多腺性自己免疫症候群1型(AIRE欠損症)の1例. 第37回日本小児肝臓研究会. 2021.6.5-6 (Hybrid, 千葉)
5. 安田亮輔, 坂口廣高, 深堀 優, 吉丸耕一朗, 松浦俊治, 眞田幸弘, 藤代 準, 田井中貴久, 内田広夫, 佐々木英之, 仁尾正記, 水落建輝. 血清MMP-7は胆道閉鎖症の葛西手術後1年以内の肝移植を予測できるか?. 第48回日本胆道閉鎖症研究会. 2021.11.11 (Hybrid, 名古屋)

## —研究費・受賞—

1. 水落建輝(研究代表者). 文科省科学研究費 基盤研究C「小児期発症自己免疫性肝疾患の新規バイオマーカーと病因遺伝子の探索」. 2021~23年度 429万円(2021年度 169万円).
2. 水落建輝(研究代表者). 川野小児医学奨学財団令和3年度第32回研究助成「小児期発症自己免疫性肝疾患の新規バイオマーカーと病因遺伝子の探索」. 2021年度 240万円.
3. 水落建輝(研究分担者). AMED 田尻班「小児ウイルス性肝炎患者の病態進展評価及び治療選択に関する研究開発」. 2021年度 46万8千円.
4. 水落建輝(研究分担者). 厚労省科研 田口班「難治性小児消化器疾患の医療水準向上および移行期・成人期のQOL向上に関する研究」. 2021年度 20万円.
5. 水落建輝(研究代表者). 2021年日本小児IBD研究会研究助成金. 「小児炎症性腸疾患における血清カルプロテクチンおよびロイシンリッチ $\alpha$ -2糖タンパク質(LRG)の有用性に関する研究」. 2021年度 10万円.
6. 安田亮輔(研究代表者). 文科省科学研究費 若手研究「オキシステロールは胆道閉鎖症のバイオマーカーとして有用か?」. 2020~22年度 403万円(2021年度 130万円).

## 腎泌尿器

### —論文—

1. Iijima K, Sako M, Oba M, Tanaka S, Hamada R, Sakai T, Ohwada Y, Ninchoji T, Yamamura T, Machida H, Shima Y, Tanaka R, Kaito H, Araki Y, Morohashi T, Kumagai N, Gotoh Y, Ikezumi Y, Kubota T, Kamei K, Fujita N, Ohtsuka Y, Okamoto T, Yamada T, Tanaka E, Shimizu M, Horinouchi T, Konishi A, Omori T, Nakanishi K, Ishikura K, Ito S, Nakamura H, Nozu K; Japanese Study Group of Kidney Disease in Children. Mycophenolate Mofetil after Rituximab for Childhood-Onset Complicated Frequently-Relapsing or Steroid-Dependent Nephrotic Syndrome. *J Am Soc Nephrol*. 2022 Feb;33(2):401-419. doi: 10.1681/ASN.2021050643. Epub 2021 Dec 8.

### —著書—

1. 田中征治. 小児の泌尿器科学的診察. 小児泌尿器科. 監修 日本泌尿器科学会. 診断と治療社. 2021;36-39.

### —講演・シンポジウム—

1. 田中征治. アラーム療法. 難治性夜尿ケースカンファランス. 第30回日本小児泌尿器科学会学術集会. 2021. 7.2-4 (大阪)
2. 田中征治. 学校検尿の今後. 福岡市学校腎臓糖尿検診研修会. 2021.6.14 (久留米Web)

3. 田中征治. PDの基礎. 第2回九州小児PDセミナー. 2021.9.25 (福岡Web)

4. 田中征治. 久留米大学TSCBoardと診療連携. 結節性硬化症(TSC) Web Seminar in 高知. 2021.11.2 (久留米Web)

## —学会・研究会演題—

### —国際学会

1. Araki J, Watanabe Y, Tanaka S. A case of primary hyperoxaluria diagnosed by urine gas chromatography / mass spectrometry. 18th Japan-Korea-China Pediatric Nephrology Seminar 2021. 2021.4.25 (Fukuoka Web)

### —国内学会

1. 荒木潤一郎, 日吉祐介, 倉田悟子, 江崎拓也, 財津亜友子, 田代恭子, 木下幸恵, 田中征治, 渡邊順子, 山下裕史朗. 新生児期の尿GC/MSにより発見し得た原発性高シュウ酸尿症の一例. 第55回小児腎臓病学会学術集会. 2021.1.6 (金沢Web)

2. 荒木潤一郎, 財津亜友子, 渡邊順子, 柿木寛明, 里地 葉, 東武昇平, 野口 満, 日吉祐介, 坂本信一, 田中征治. 臨床像の異なるシスチン尿症の姉弟例. 第29回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会. 2021.1.31 (東京 Web)

3. 荒木潤一郎, 日吉祐介, 田代恭子, 福井香織, 渡邊順子, 坂本信一, 田中征治. 代謝性小児尿路結石の診断における尿ガスクロマトグラフィ/質量分析(尿GC/MS)の有用性. 第30回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会. 2021.7.4 (大阪)

4. 日吉祐介. 放課後児童支援(学童)員における昼間尿失禁と夜尿症に関する実態調査～Kurume study～ 第30回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会. 2021.7.2-4 (大阪)

5. 清田今日子, 桑門克治, 大塚泰史, 河野智康, 此元隆雄, 斉宮真理, 白川利彦, 田中征治, 寺町昌史, 仲里仁史, 中西浩一, 西山慶, 波多江 健, 宮園明典, 郭 義胤. 九州・沖縄地区のIgA腎症の発見契機における学校検尿の役割. 第56回日本小児腎臓病学会学術集会. 2021.7.9-10 (高知)

6. 荒木潤一郎, 日吉祐介, 倉田悟子, 田中征治. 当院における非IgAメサンギウム増殖性糸球体腎炎とDiffuse Mesangial Hypercellularityの検討. 第56回日本小児腎臓病学会学術集会. 2021.7.9-10 (高知Web)

7. 財津亜友子, 荒木潤一郎, 田中征治, 山下裕史朗. 腹膜平衡試験により残腎機能回復が確認でき維持腹膜透析を離脱し得た1例. 第56回日本小児腎臓病学会学術集会. 2021.7.9 (高知 Web)

8. 宮城裕典, 田中征治, 加藤 健, 安田亮輔, 日吉祐介, 坂口廣高, 荒木潤一郎, 水落建輝, 橋川恵子, 西小森隆太. SLEに蛋白漏出性胃腸症(PLE)を併発した一例. 第30回日本小児リウマチ学会学術集会. 2021.10.15-17 (東京Web)

9. 荒木潤一郎, 財津亜友子, 七種 護, 木下正啓, 田中征治. 重症度を予測できなかった先天性横隔膜ヘルニアに対し緊急ECMOにCHDFを併用し救命し得た1例. 第42回日本小児腎不全学会学術集会. 2021.12.9-10 (東京Web)

10. 財津亜友子, 濱崎祐子, 久保田舞, 橋本淳也, 青木裕次郎, 宍戸清一郎, 山村なつみ, 山本勝輔, 酒井 謙. 献腎移植後の急性脳梗塞発症により“もやもや病”が判明した常染色体劣性多発性嚢胞腎の一例. 第42回小児腎不全学会学術集会. 2021.12.10 (東京 Web)

### —研究会・学会地方会

1. 荒木潤一郎, 財津亜友子, 渡邊順子, 柿木寛明, 里地 葉, 東武昇平, 野口 満, 日吉祐介, 坂本信一, 田中征治. 巨大尿管結石により高度水腎症と急性細菌性巣状糸球体腎炎(AFBN)を呈したシスチン尿症の一例. 第17回九州小児泌尿器研究会. 2021.2.21 (久留米 Web)

2. 宮城裕典, 日吉祐介, 荒木潤一郎, 田中征治, 西小森隆太. SLEにprotein-Losing enteropathy (PLE)を併発した一例. 第12回KOCSリウマチ研究会.2021.6.12 (久留米Web)
3. 田中征治. 非典型症例を呈したTSC成人移行例. TSCより良い診療連携を目指して. 2021.6.22 (久留米Web)
4. 財津亜友子, 橋本淳也, 久保田舞, 濱崎祐子. 診断と治療に難渋したステロイド抵抗性ネフローゼ症候群の1歳男児例. 第12回東京神奈川小児腎センターの会. 2021.7.1 (Web)
5. 荒木潤一郎, 日吉祐介, 田代恭子, 福井香織, 渡邊順子, 坂本信一, 田中征治. 代謝性小児尿路結石の診断における尿ガスクロマトグラフィ/質量分析(尿GC/MS)の有用性. 第34回九州小児ネフロロジー研究会. 2021.9.18 (大分Web)
6. 吉田愛梨, 日吉祐介, 荒木潤一郎, 田中征治. 急性尿閉と腎後性腎不全を認めた3歳女児の1例. 第23回福岡小児腎研究会. 2021.11.6 (久留米Web)
7. 財津亜友子, 橋本淳也, 久保田舞, 濱崎祐子. 診断と治療に難渋したステロイド抵抗性ネフローゼ症候群の1歳男児例. 第6回東邦大学小児医療研究会. 2021.12.11 (東邦大学内)
8. 井手水紀. 経口避妊薬による薬剤性ループスを発症したと考えられる13歳女児の1例. 第514回福岡地方会. 2021.12.11

#### －ワークショップ

1. 北城恵史郎, 田中征治. ワークショップ1他領域との連携「血液腫瘍患者におけるCKD」. 第56回小児腎臓病学会学術集会. 2021.7.9-10 (高知Web)

#### －研究費・受賞－

1. 田中征治. 厚生労働科学研究費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)ワクチンの有効性・安全性評価とVPD対策への適用に関する分析疫学研究(研究代表者 廣田良夫)
2. 荒木潤一郎. 会長奨励賞:代謝性小児尿路結石の診断における尿ガスクロマトグラフィ/質量分析(尿GC/MS)の有用性. 第29回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会. 2021.7.4 (大阪)

## 新生児

#### －論文－

1. Saikusa M, Kinoshita M, Tsuda K, Hisano T, Okada J, Iwata S, Fujino H, Maeno Y, Yamashita Y, Iwata O. Revisions of clinical protocols using the Plan Do Check Act cycle improved outcomes of extremely preterm infants at 2 years. *Acta Paediatrica*.2021;Jul;110(7):2100-2109.
2. Kinoshita M, Yatsuga S, Iwata O, Okamura H, Morisaki T, Iwata S, Hara N, Shindo R, Saikusa M, Harada E, Tsuda K, Yamashita Y, Koga Y. Temporal changes and control variables of growth differentiation factor 15 levels during the first week of life in hospitalised newborn infants. *Mitochondrion*. 2021;Nov 61:25-30.
3. Teramachi Y, Maeno Y, Hirose A, Horinouchi T, Kozuma Y, Yoshizato T, Suda K. Simple method to distinguish the type of fetal premature contraction using arterial Doppler time interval measurements. *The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 2021;47(2):495-500.
4. Nakane S, Tsuda K, Kinoshita M, et al. Airway gas temperature within endotracheal tube can be monitored using rapid response thermometer. *Scientific Reports*. 2021;11(1):9537.
5. Mizutani Y, Kinoshita M, Lin YC, Fukaya S, Kato S, Hisano T, Hida H, Iwata S, Saitoh S, Iwata O. Temporal

inversion of the acid-base equilibrium in newborns: an observational study. Peer J. 2021;Apr 14;9:e11240.

6. Eckersley LG, Mills L, Hirose A, Khoo NS, Wernovsky G, Hornberger LK. The Perinatal Transition and Early Neonatal Period in Hypoplastic Left Heart Syndrome Is Associated With Reduced Systemic and Cerebral Perfusion. Can J Cardiol. 2021;Dec;37(12):1923-1933.
7. Aldana-Aguirre JC, Eckersley L, Hyderi A, Hirose A, Boom JVD, Kumaran K, Hornberger LK. Influence of extreme prematurity and bronchopulmonary dysplasia on cardiac function. Echocardiography. 2021;Sep;38(9):1596-1603.
8. 門間和夫, 前野泰樹. 総動脈幹遺残ラット胎仔心臓血管断面の天然色図譜. 日本小児循環器学会雑誌. 2021; 37(2):88-95.

#### —著書—

1. 前野泰樹. 胎児不整脈をどう見る? 治療しなくてはならない胎児不整脈は? 図解とQ & Aここまで分かるステップアップ新生児循環管理. 改訂2版 与田仁志編著 メディカ出版. 2021:274-278.
2. 前野泰樹. 新生児不整脈をどう見る? 治療しなくてはならない新生児不整脈は? 図解とQ & Aここまで分かるステップアップ新生児循環管理. 改訂2版 与田仁志編著 メディカ出版. 2021:278-285.

#### —講演・シンポジウム—

1. 前野泰樹. 胎児不整脈を見つけたら. 第15回近畿胎児心臓病研究会. 2021.6.6 (大阪, web)
2. 前野泰樹. 教育講演 周産期管理に始まる先天性心疾患の管理と予後. 第57回日本周産期新生児医学会. 2021.7.10-12 (宮崎)
3. 前野泰樹. もう慌てない, 新生児の不整脈, 正しく知って, 正しく対応. 第1回九州新生児成育セミナー. 2021.10.30 (鹿児島)
4. 海野光昭. 周産期遠隔医療構想の実現に向けて ~聖マリア病院NICUにおける取り組み~. 第4回東北新生児セミナー. 2021.10.30 (Web)
5. 前野泰樹. 胎児心エコー検査ガイドライン第2版 改訂のポイント. 第5回九州山口胎児心臓研究会. 2021. 11.20 (北九州, web)
6. 海野光昭. いま求められる遠隔医療「あらゆる現場で、いつでも簡単につながる安心を」国内の先進事例と、PHCの最新遠隔医療システムの紹介. 企業新製品発表会 2021.12.9 (web)
7. 前野泰樹. 胎児の心室期外収縮, 心室頻拍. 第6回日本胎児心臓病学会レベル2講習会. 2021.12.12 (東京, web)

#### —セミナー—

1. 海野光昭. 日米の新生児医療における遠隔医療の取り組みと効果・課題について Tele-Neonatology in the United States and Japan. 第24回日本遠隔医療学会 共催セミナー JSL2. 2021.2.11-25 (web)
2. 木下正啓. 日米の新生児医療における遠隔医療の取り組みと効果・課題について Tele-Neonatology in the United States and Japan. 第24回日本遠隔医療学会 共催セミナー JSL2. 2021.2.11-25 (web)
3. 海野光昭. 遠隔医療システムと周産期医療の融合 ~近未来の安全・安心な出産を目指して~. ランチョンセミナー 第25回日本遠隔医療学会学術大会. 2021.10.9-101 (岐阜)

## —学会・研究会演題—

1. Maeno Y, Hirose A, Teramachi Y, Inoue T, Maeda Y, Takase R, Koteda Y, Suda K. Cardiac Function in Fetuses with Maternal Anti-SS-A Antibody Assessed by Dual-Gate Doppler Echocardiography. The 8th Congress of the Asia-Pacific Pediatric Cardiac Society. 2021.7.17-18(Taipei, web)
2. 寺町陽三, 前野泰樹, 廣瀬彰子, 堀之内崇士, 上妻友隆, 吉里俊幸, 須田憲治. Dual gate Doppler法を使用した胎児心機能評価. 第26回日本胎児心臓病学会学術集会. 2021.2.26-27 (仙台, web)
3. 富野広通, 寺町陽三, 廣瀬彰子, 堀之内崇士, 上妻友隆, 吉里俊幸, 前野泰樹. Ebstein奇形に心室中隔欠損症を合併しcircular shuntをきたした1例. 第26回日本胎児心臓病学会学術集会. 2021.2.26-27 (仙台, web)
4. 桑原浩徳, 木下正啓, 七種 護, 進藤亮太, 中村美彩, 緑川浩子, 嶽間澤昌史, 原 直子, 山下裕史朗. 先天性肺気道奇形・肺分画症に非典型的な縦隔気腫を認めた1例. 第512回日本小児科学会福岡地方会例会. 2021.4.10 (福岡)
5. 前野泰樹, 寺町陽三, 廣瀬彰子, 堀之内崇士, 上妻友隆, 吉里俊幸. 新生児ループスの心機能障害: Dual-gate Doppler胎児心エコーによる心機能評価. 第65回日本新生児成育医学会学術集会. 2021.5.7-9 (札幌, web)
6. 前野泰樹, 前田靖人, 鍵山慶之, 寺町陽三, 家村素史. 新生児医による入院時心エコー検査の先天性心奇形診断に対する役割. 第57回日本小児循環器学会学術集会. 2021.7.8-10 (奈良, web)
7. 寺町陽三, 前野泰樹, 廣瀬彰子, 須田憲治. Tissue Doppler法におけるMyocardial Performance Indexの新たな測定. 第57回日本小児循環器学会学術集会. 2021.7.8-10 (奈良, web)
8. 清松光貴, 鍵山慶之, 高瀬隆太, 寺町陽三, 籠手田雄介, 財満康之, 庄嶋賢弘, 前野泰樹, 須田憲治. 胎児診断によりスムーズに心内修復に到達できた左肺動脈動脈管起始症, 右側大動脈弓の一例. 第57回日本小児循環器学会学術集会. 2021.7.8-10 (奈良, web)

## —研究費・受賞—

1. 木下正啓. 日本医療研究開発機構 (AMED) 成育疾患克服等総合研究事業「新生児低酸素性虚血性脳症の生物マーカーの実用化に向けた臨床研究」 研究開発分担者
2. 木下正啓. 文部科学省研究費 基盤研究 (C) カテーテル先端が視認可能な導光性経鼻栄養カテーテルの開発～誤挿入防止を目指して～

## 感染症

### —論文—

1. Tanaka Y, Miyata I, Nakamura Y, Kondo E, Gotoh K, Oishi T, Nakano T, Ouchi K. Characteristics and etiology of infection in febrile infants aged  $\leq 90$  days. *Pediatr Int.* 2021;Oct 27;doi:10.1111/ped.15040.
2. Tanaka Y, Oishi T, Ono S, Kono M, Kato A, Miyata I, Ohno N, Ouchi K. Epidemiology of urinary tract infections in children: Causative bacteria and antimicrobial therapy. *Pediatr Int.* 2021;Oct;63(10):1198-1204.
3. Nakamura Y, Oishi T, Kaneko K, Kenri T, Tanaka T, Wakabayashi S, Kono M, Ono S, Kato A, Kondo E, Tanaka Y, Teranishi H, Akaike H, Miyata I, Ogita S, Ohno N, Nakano T, Ouchi K. Recent acute reduction in macrolide-resistant *Mycoplasma pneumoniae* infections among Japanese children. *J Infect Chemother.* 2021;Feb;27(2):271-276.
4. Morio T, Gotoh K, Imagawa T, Morita K, Ohnishi H, Yasui K, Hofmann J, Lawo JP, Amgad Shebl A, Rojavin

MA. Safety and tolerability of IgPro10 in Japanese primary immunodeficiency patients: a registrational study. *Int J Hemato*.2021;113:921-929.

5. Sakai Y, Gotoh K, Nakano R, Iwahashi J, Miura M, Horita R, Miyamoto M, Yano H, Kannae M, Takasu O, Watanabe H. Infection control for a carbapenem-resistant Enterobacteriaceae outbreak in an advanced emergency medical services center. *Antibiotics (Basel)*. 2021;Dec 15:10(12):1537. doi:10.3390/antibiotics10121537.
6. 宮崎裕之, 田中悠平, 島 さほ, 三宅 淳, 多々良一彰, 屋宮清仁, 後藤憲志. 頭頸部手術後に発症した肺炎球菌性髄膜炎の2例. *小児感染免疫*. 2021;33(4):373-380.

#### —著書—

1. 田中悠平. 小児の発熱の見方. 流れがわかる! 感染症診療の歩きかた. 南山堂 2021 in press

#### —講演・シンポジウム—

1. 後藤憲志, 坂本 透, 三宅 淳, 渡邊 浩. シンポジウム2、Withコロナ時代のトラベルクリニック: 大学病院における対応 コロナ禍においてトラベルクリニックを大学病院で行うということ. 第25回日本渡航医学会学術集会. 2021.8.21 (オンライン開催)
2. 後藤憲志, 渡邊 浩. シンポジウム 臨床医学から見たバイオフィーム: 臨床で問題となるバイオフィーム関連感染症. 第35回日本バイオフィーム学会学術集会. 2021.8.28 (オンライン開催)

#### —学会・研究会演題—

1. 田中悠平, 島 さほ, 三宅 淳, 多々良一彰, 後藤憲志, 山下裕史朗. 発熱性好中球減少症に対する抗菌薬治療の検証. 第124回日本小児科学会学術集会. 2021.4.16-18 (京都)
2. 三宅 淳, 坂本 透, 多々良一彰, 田中悠平, 後藤憲志, 渡邊 浩. 当院小児科におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) の検討. 第95回日本感染症学会学術講演会 第69回日本化学療法学会総会 合同学会. 2021.5.7~9 (横浜)
3. 後藤憲志, 島 さほ, 三宅 淳, 多々良一彰, 田中悠平, 山下裕史朗. NICUにおける *C. parapsilosis* の院内感染事例. 第53回日本小児感染症学会総会・学術集会. 2021.10.9-10 (東京)
4. 田中悠平, 島 さほ, 三宅 淳, 後藤憲志. 発熱性好中球減少症治療中に急激な経過を辿って救命できなかった2例. 第53回日本小児感染症学会総会・学術集会. 2021.10.9-10 (東京)
5. 多々良一彰, 田中悠平, 島 さほ, 三宅 淳, 寺町麻利子, 後藤憲志. 肺炎球菌ワクチン接種後に発症した多剤耐性肺炎球菌による細菌性髄膜炎・硬膜下膿瘍の一例. 第53回日本小児感染症学会総会・学術集会. 2021.10.9-10 (東京)
6. 島 さほ, 田中悠平, 三宅 淳, 後藤憲志. 異なる経過をたどったCoxsackievirusB4による血球貪食症候群の一絨毛膜二羊膜双胎児. 第53回日本小児感染症学会総会・学術集会. 2021.10.9-10 (東京)
7. 三宅 淳, 島 さほ, 田中悠平, 後藤憲志, 山下裕史朗. 5年間における当院小児科病棟で尿から分離された基質拡張型 $\beta$ -ラクタマーゼ (ESBL) 産生菌の検討. 第53回日本小児感染症学会総会・学術集会. 2021.10.9-10 (東京)
8. 三宅 淳, 坂本 透, 後藤憲志, 渡邊 浩. 5年間における当院小児科病棟での基質拡張型 $\beta$ -ラクタマーゼ (ESBL) 産生菌による尿路感染症の検討. 第91回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第64回日本感染症学会中日本地方会学術集会・第69回日本化学療法学会西日本支部総会 合同開催. 2021.11.5-7 (岐阜)

## —研究費・受賞—

1. 後藤憲志. 文部科学省研究費 基盤研究(C) 無莢膜型インフルエンザ菌による侵襲性感染症の病態解析 143万
2. 後藤憲志. 千葉大学真菌医学研究センター共同利用・共同研究 Pathological analysis of invasive infectious disease due to nontypeable Haemophilus influenzae 30万
3. 島 さほ. 杜の都医学振興財団 無菌部位から検出された市中感染型メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (Community-acquired methicillin-resistant Staphylococcus aureus; CA-MRSA) の薬剤感受性解析および分子疫学的調査 50万
4. 三宅 淳. 杜の都医学振興財団 無莢膜型インフルエンザ菌における侵襲性感染症の病原因子の解明 50万

## 内分泌

### —論文—

1. Ushijima K, Ogawa Y, Terao M, Asakura Y, Muroya K, Hayashi M, Ishii T, Hasegawa T, Sekido R, Fukami M, Takada S, Narumi S. Identification of the first promoter-specific gain-of-function *SOX9* missense variant (p.E50K) in a patient with 46,XX ovotesticular disorder of sex development. American Journal of Medical Genetics Part A. 2021;185(4):1067-75.
2. Kinoshita M, Yatsuga S, Iwata O, Okamura H, Morisaki T, Iwata S, Hara N, Shindo R, Saikusa M, Harada E, Tsuda K, Yamashita Y, Koga Y. Temporal changes and control variables of growth differentiation factor 15 levels during the first week of life in hospitalised newborn infants. Mitochondrion. 2021;61:25-30.
3. Horikawa Y, Yatsuga S, Okamatsu Y. Caffeine Intoxication Due to Antipyretic Analgesic Overdose in an Adolescent. Cureus. 2021;13(9):e17922.
4. Kimura T, Umino S, Kitamura M, Yatsuga S. Increased Serum-Immunoglobulin G4 Levels in a 12-Year-Old Male Patient With Central Diabetes Insipidus. Cureus. 2021;13(8):e17362.

### —講演・シンポジウム—

#### —国内学会—

1. ハツ賀秀一. 周産期型低フォスファターゼ症の診療と家族歴調査の重要性. 第43回日本母胎胎児医学会学術集会 ランチョンセミナー2. 2021.8.27 (名古屋, WEB開催)

#### —研究会・学会地方会—

1. ハツ賀秀一. 小児の成長と亜鉛. 筑後小児科医会. 2021.3.11 (久留米)
2. ハツ賀秀一. 小児の成長と亜鉛. 筑豊小児科医会. 2021.4.8 (完全WEB開催)
3. ハツ賀秀一. カルシウム・リン代謝異常症—低リン血症性くる病、骨軟化症を中心に—. 筑豊小児科医会. 2021.9.16 (完全WEB開催)

#### —その他—

1. ハツ賀秀一. アンケートからみる低身長関連データ. サンド社内講演会. 2021.4.20 (飯塚)

### —学会・研究会演題—

#### —国際学会—

1. Yatsuga S, Amano N, Nakamura-Utsunomiya A, Kobayashi H, Takazawa K, Nagasaki K, Nakamura A, Nishigaki S, Numakura C, Fujiwara I, Minamitani K, Hasegawa T, Tajima T. Clinical characteristics of

cytochrome P450 oxidoreductase deficiency: a nationwide survey in Japan. European Society for Paediatric Endocrinology 2021 (ESPE 2021). 2021.9.22-26 (完全WEB開催)

## —国内学会

1. 鈴木江莉奈, 小堀善友, 勝見桃理, 牛嶋規久美, 内山 徹, 岡田 弘, 宮戸真美, 深見真紀. 生殖年齢の非閉塞性無精子症患者におけるモザイクY染色体喪失は稀である. 第54回日本小児内分泌学会学術集会. 2021.10.28-30 (完全WEB開催)
2. 田中ゆかり, 齊木玲央, 牛嶋規久美, 八ッ賀秀一. Glycogenic hepatopathy を繰り返した1型糖尿病9歳男児. 第54回日本小児内分泌学会学術集会. 2021.10.28-30 (完全WEB開催)
3. 鈴木敦詞, 青山幸平, 山口直哉, 吉田あや, 大沼真輔, 山本賢一, 喜多村美幸, 田川晃司, 石川有希美, 古宮 圭, 木下尚子, 島田 綾, 田中達之, 小野裕之, 松本真明, 長谷川奉延. 全国若手小児内分泌科医による低身長診療の実態調査. 第54回日本小児内分泌学会学術集会. 2021.10.28-30 (完全WEB開催)
4. 服部 淳, 喜多村美幸, 八ッ賀秀一, 中村明枝, 深見真紀. クロモソリプシスが原因であると推測される46,XX性分化疾患症例. 第54回日本小児内分泌学会学術集会. 2021.10.28-30 (完全WEB開催)
5. 宮城実咲, 向笠理緒, 八ッ賀秀一, 徳田智代. 小児肥満児のQOLの特徴—健常児との比較—. 第54回日本小児内分泌学会学術集会. 2021.10.28-30 (完全WEB開催)

## —研究会・学会地方会

1. 八ッ賀秀一. 症例提示: 周産期型HPPの家族例. 長崎県HPP研究会. 2021.1.27 (完全WEB開催)
2. 嘉村拓朗, 大矢崇志, 八ッ賀秀一, 岡松由記. 極端に偏った食生活をしていた自閉スペクトラム症の児に生じた壊血病の2歳男児. 第511回日本小児科学会福岡地方会例会. 2021.2.13 (福岡, ハイブリッド開催)
3. 田中智規, 嘉村拓朗, 近藤里香子, 八ッ賀秀一, 岡松由記. 自殺企図でメチルフェニデート過量内服したADHD13歳男児. 第513回日本小児科学会福岡地方会例会. 2021.6.12 (福岡, ハイブリッド開催)
4. 大島菜那子, 阪田健祐, 古賀木綿子, 牛嶋規久美, 海野聡子, 西岡淳子, 荒木潤一郎, 山下裕史朗. 発熱時左尿管結石を認めたケトアシドーシス合併1型糖尿病小児の1例. 第514回日本小児科学会福岡地方会例会. 2021.10.9 (福岡, ハイブリッド開催)

## —研究費・受賞—

1. 海野聡子. 森永奉仕会研究奨励金「乳幼児期の体重増加不良を予測するためのリスク因子と新たなバイオマーカー GDF15 の有用性について」50万円

## 心身症

### —論文—

1. 松岡美智子, 石井隆大, 永光信一郎. 精神疾患の親をもつ子どもへの支援の在り方について—精神科医の役割—. 子の心とからだ. 2021;30(3):353-358.
2. 弓削康太郎. 脊髄性筋萎縮症 (SMA) に対する革新的な治療法. 久留米大学医学部同窓会月報. 第386号 2021.11.5

### —講演・シンポジウム—

#### —講演

1. 石井隆大. 小児心身症を見逃さない・怖がらない～心身症の患児への向き合い方や接し方を一緒に考えてみよう～. こどもどこオンラインセミナー. 2021.11.20 (Web)

## —シンポジウム—

1. 石井隆大. 久留米大学小児科における ICT を取り入れた小児保健指導の試み. 第 68 回日本小児保健協会学術集会. 2021.6.18-6.20 (沖縄 Web・オンデマンド配信)

## —セミナー—

1. 弓削康太郎. 神経発達症診療のいま～睡眠から攻める～. 第 217 回筑後小児医会セミナー. 2021.3.11 (福岡)

## —一般演題 (口演)—

1. 吉塚梯子. 無痛性甲状腺炎の合併が疑われた神経性やせ性. 第 39 回日本小児心身医学会. 2021.9.23
2. 石井隆大, 吉塚梯子, 山下大輔, 山下裕史朗. 多数の専門分野を有する施設における小児リエゾンの役割. 第 39 回日本小児心身医学会. 2021.9.23
3. 山下大輔, 吉塚梯子, 石井隆大, 山下裕史朗. 再栄養後に急激な体重増加を来した偏食歴のある自閉スペクトラム症/知的障害のある男児の一例. 第 39 回日本小児心身医学会. 2021.9.23

## —研究会・学会地方会—

1. 後藤康平, 八戸由佳子, 石井隆大, 磯岡藍子, 七種朋子, 弓削康太郎, 岡部留美子, 原 宗嗣, 大矢崇志, 家村明子, 永光信一郎, 山下裕史朗. 発達遅延、小脳症状を認めた 10 歳男児 (A). 第 90 回日本小児神経学会九州地方会. 2021.1.10 (宮崎 Web)
2. 新居見真吾, 長井孝二郎, 向井純平, 八戸由佳子, 石井隆大, 弓削康太郎, 中川慎一郎, 永光信一郎, 山下裕史朗. 胸腺腫を合併した小児全身型重症筋無力症クリーゼの 1 例. 第 511 回日本小児科学会福岡地方会例会. 2021.2.13 (福岡)
3. 石井隆大, 田中友規, 嘉村拓朗, 近藤里香子, ハツ賀秀一, 岡松由記. 自殺企図によりメチルフェニデート中毒に至った ADHD の 13 歳男児. 第 513 回日本小児科学会福岡地方会例会. 2021.6.12 (福岡)
4. 木村 拓, 石井隆大, 木村拓郎, 荒木潤一郎, 鍵山慶之, 八戸由佳子, 高瀬隆太, 弓削康太郎, 寺町陽三, 籠手田雄介, 田中征治, 西小森隆太, 須田憲治, 山下裕史朗, 富田尚文. 再栄養後に急性心不全を疑われた 6 歳摂食障害児の一例. 第 513 回日本小児科学会福岡地方会例会. 2021.6.12 (福岡)

## —研究費・受賞—

1. 石井隆大. 文部科学省研究費 基盤研究 (若手) (継続) 「ICT を活用した小児睡眠障害への予防介入・認知行動療法の開発」61 万円 (代表)
2. 吉塚梯子. 内村助成金 若手女性研究者助成金「親との死別を経験した AYA 世代の複雑性悲嘆のハイリスク因子についての研究」10 万円 (代表)

## 小児救急

### —著書—

1. 向井純平. 内分泌・代謝救急疾患「糖尿病性ケトアシドーシス」. 小児救急・ICU ピックアップ⑤. 東京:メディカルサイエンスインターナショナル. 2021:17-25.

### —学会・研究会演題—

1. 新居見真吾, 長井孝二郎, 向井純平, 八戸由佳子, 石井隆大, 弓削康太郎, 中川慎一郎, 永光信一郎, 山下裕史朗. 胸腺腫を合併した小児全身型重症筋無力症クリーゼの 1 例. 第 511 回日本小児科学会福岡地方会. 2021.2.13 (福岡)
2. 大島菜那子, 向井純平, 長井孝二郎, 島 さほ, 田中悠平, 後藤憲志, 鍵山慶之, 山下裕史朗. 敗血症性ショック

クとなったPVL陽性MRSAによる肺膿瘍の1例. 第515回日本小児科学会福岡地方会. 2021.12.11 (福岡)

## 高次脳疾患研究所

芳野 信

—論文—

1. Shintaku H, Ohura T, Takayanagi M, Kure S, Owada M, Matsubara Y, Yoshino M, Okano Y, Ito T, Okuyama T, Nakamura K, Matuo M, Endo F and Ida H: Guide for diagnosis and treatment of hyperphenylalaninemia. *Pediatr Int.* 2021;63(1):8-12, <https://doi.org/10.1111/ped.14399> First published: 10 January 2021
2. Yokoi K, Nakajima Y, Shinkai Y, Yasui T, Yoshino M, Yoshikawa T, Ito T, Hiroki Kurahashi H: Novel *ARG1* variants identified in an arginase 1 deficient patient *Human Genome Variation.* 2021; 8:8, <https://doi.org/10.1038/s41439-021-00139-9>, published online: 4 February 2021

—学会・研究会演題—

—国際学会—

1. Fukui K, Takahashi T, Matsunari H, Uchikura A, Watanabe M, Nagashima H, Ishihara N, Kakuma T, Watanabe Y, Yamashita Y, Yoshino M. A novel therapeutic strategy for hyperammonemia that targets glutaminolysis. 5<sup>th</sup> International Symposium on Urea Cycle Disorders, September 22-24, 2021 (Washington D.C., meeting on the web).

—国内学会—

1. 福井香織, 高橋知之, 渡邊順子, 芳野 信. ジメチル  $\alpha$ -ケトグルタル酸はグルタミン酸デヒドロゲナーゼのフラックス抑制によりアンモニアを低下させる. 第62回日本先天代謝異常学会. 2021.11.4-11 (名古屋)

高橋知之

—論文—

1. Mitsui K, Takahashi T, Ide K, Matsuda E, Kosai K. Optimization of Adenoviral Gene Transfer in Human Pluripotent Stem Cells. *Biochem. Biophys. Res. Commun.* 2021;541:78-83.

—講演・シンポジウム—

—国際学会—

1. 福井香織, 高橋知之, 松成ひとみ, 内倉鮎子, 長嶋比呂志, 石原直忠, 角間辰之, 山下裕史朗, 渡邊順子, 芳野 信. A NOVEL THERAPEUTIC STRATEGY FOR HYPERAMMONEMIA TARGETING GLUTAMINOLYSIS. Kaori Fukui,1 Tomoyuki Takahashi,1,2 Hitomi Matsunari,3 Ayuko Uchikura,3 Hiroshi Nagashima,3, 4 Naotada Ishihara,5, 6 Tatsuyuki Kakuma,7 Yoriko Watanabe,1, 8 Yushiro Yamashita,1 and Makoto Yoshino2 5<sup>th</sup> International Symposium on Urea Cycle Disorders (ポスター). 2021.9.22-24 Web会議

—国内学会—

1. 高橋知之. Role of Mecp2-null mouse model of Rett syndrome in understanding the pathophysiology and in identifying potential therapies. レット症候群モデルマウスを用いた病態解明と治療応用への展望. 第63回日本小児神経学会学術集会 (シンポジウム). 2021.5.27-29 (福岡市)
2. 弓削康太郎, 高橋知之, 松石豊次郎, 山下裕史朗. Study of sleep disorders in Rett syndrome using MeCP2 deficient mice. MeCP2欠損マウスによるレット症候群の睡眠障害に関する研究. 第63回日本小児神経学会学術集会 (ポスター). 2021.5.27-29 (福岡市)
3. 福井香織, 高橋知之, 渡邊順子, 芳野 信. ジメチル  $\alpha$ -ケトグルタル酸はグルタミン酸デヒドロゲナーゼのフラックス抑制によりアンモニアを低下させる. Dimethyl  $\alpha$ -ketoglutarate reduces ammonia by primarily suppressing glutamate dehydrogenase flux. 第62回日本先天代謝異常学会総会 (口演). 2021.11.4-6 (名古屋).

Web会議)

### —研究費・受賞—

1. レット症候群における睡眠障害の病態解明と治療 —睡眠・覚醒制御システムの役割— (基盤研究C 令和2-5年度:429万円)

古賀靖敏

### —論文—

1. Koga Y, Povalko N, Inoue E, Ishii A, Fujii K, Fujii T, Murayama K, Mogami Y, Hata I, Ikawa M, Fukami K, Fukumoto Y, Nomura M, Ichikawa K, Yoshida K. A new diagnostic indication device of a biomarker growth differentiation factor 15 for mitochondrial diseases: From laboratory to automated inspection. *Journal of inherited metabolic disease*. 2021;44(2):358-66.
2. Kinoshita M, Yatsuga S, Iwata O, Okamura H, Morisaki T, Iwata S, Hara N, Shindo R, Saikusa M, Harada E, Tsuda K, Yamashita Y, Koga Y. Temporal changes and control variables of growth differentiation factor 15 levels during the first week of life in hospitalised newborn infants. *Mitochondrion*. 2021;61:25-30.
3. Karaa A, MacMullen LE, Campbell JC, Christodoulou J, Cohen BH, Klopstock T, Koga Y, Lamperti C, Maanen Rv, McFarland R, Parikh S, Rahman S, Scaglia F, Sherman AV, Yeske P, Falk MJ. Community Consensus Guidelines to Support FAIR Data Standards in Clinical Research Studies in Primary Mitochondrial Disease. *Advanced Genetics*. 2021;n/a(n/a):2100047.
4. Kojima-Ishii K, Sakakibara N, Murayama K, Nagatani K, Murata S, Otake A, Koga Y, Suzuki H, Uehara T, Kosaki K, Yoshiura K, Mishima H, Ichimiya Y, Mushimoto Y, Horinouchi T, Nagano C, Yamamura T, Iijima K, Nozu K. BCS1L mutations produce Fanconi syndrome with developmental disability. *Journal of human genetics*. 2021.

### —著書—

1. 古賀靖敏. ミトコンドリア病とGDF15. *Precision Medicine*. 北隆館. 2021;4(12):26-30.
2. 古賀靖敏. ミトコンドリア病 MELAS. 脳神経内科診断ハンドブック. 下畑享良編著. 中外医学社. 2021; 510-520.

### —講演・シンポジウム—

1. Koga Y. UMDF Teaching Seminar “Management of the Stroke-like Episodes in MELAS, Acute and Interictal Phase”. *Mitochondrial Medicine Society Platform - Updates in Mitochondrial Disease*. 2021.6.24 (Virtual Conference).
2. 古賀靖敏. バイオマーカー GDF15の産業化により大きく変わるミトコンドリア病の診断アルゴリズム. 第63回日本小児神経学会学術集会 教育講演1. 2021.5.27 (福岡)

### —学会・研究会演題—

1. 古賀靖敏. ミトコンドリア病の病因、病態、治療法. 第26回ホルモン療法を考える神奈川県医師の会. 2021.3.3 (神奈川, オンライン講演)
2. 古賀靖敏. 若手小児神経科医のためのミトコンドリア病診療. 第18回小児神経学入門講座/第39回米子セミナー. 2021.11.1~11.30 (米子, オンデマンド配信)

### —研究費・受賞—

1. 古賀靖敏. 日本医療研究開発機構研究費 医療機器等における先進的研究開発・開発体制強化事業 先進的医療機器・システム等開発プロジェクト「tRNA 修飾異常を起因とする疾患を迅速かつ正確に診断可能なシステム研究開発」研究開発分担者 (2021年度) 130万円

## CPT

酒井さやか

—著書—

1. 酒井さやか. 社会的ハイリスク妊婦とその出生児の抱える問題. 小児保健研究. 2021;80(3):341-343.
2. 中村美和子, 永光信一郎, 小原 仁, 石井隆大, 酒井さやか, 下村国寿, 黒川美知子, 角間辰之, 山下裕史朗. 5歳時における育児感情と子どもの発達に与える産後の母親の抑うつ気分の影響. 小児保健研究. 2021;80(6):797-802.
3. 酒井さやか. 社会的ハイリスク妊婦とその出生児の抱える問題 —小児科医としての役割り—. 子どもの心とからだ 日本小児心身医学会雑誌. 2021;29(4):401-403.

—学会・研究会演題—

—国内学会—

1. 酒井さやか, 満尾美穂, 守屋普久子. 医系女性研究者の仕事における旧姓使用に関する調査. 第53回日本医学教育学会大会. 2021.7.30-31 (WEB開催)
2. 満尾美穂, 島田 翔, 大石早織, 中川慎一郎, 松尾陽子, 酒井さやか, 大園秀一. 医療者側が提示した治療に対し家族が拒否を示した小児がん患者4例への対応とチーム医療の意義. 第63回日本小児血液・がん学会学術集会. 2021.11.25-27 (WEB開催)
3. 酒井さやか, 永光信一郎, 阿比留千尋, 大久保晴美, 清水知子, 内村直尚, 山下裕史朗. A市における社会的ハイリスク妊産婦のリスク評価と出生児へのランク別対応. 日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会. 2021.12.4-5 (横浜, ハイブリット開催)

—研究費・受賞—

1. 酒井さやか. 文部科学省科学研究費 若手研究「児童虐待予防に向けた地域母子保健連携の戦略モデルに関する研究」研究代表者 (令和2年～4年) 351万円
2. 酒井さやか. 厚生労働省科学研究費 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 (健やか次世代育成総合研究事業)「身体的・精神的・社会的 (biopsychosocial) に乳幼児・学童・思春期の健やかな成長・発達をポピュレーションアプローチで切れ目なく支援するための社会実装化研究」分担研究者 (研究代表者 永光信一郎) (令和3年) 50万円

—班会議—

1. 酒井さやか. 令和3年度 厚生労働省科学研究費 子ども・子育て支援推進調査研究事業「母子保健における児童虐待予防等のためのリスクアセスメントの在り方に関する調査研究」班 第1回検討委員会 (研究代表者 高岡昂太). 2021.8.16 18:00-20:00 Web会議

—その他—

1. 酒井さやか. 「久留米大学 ダイバーシティ・インクルージョン」RKB毎日放送「発掘ゼミ!!」. 2021.9.25

## 関連病院業績

### 飯塚病院

#### —講演・シンポジウム—

1. 田中祥一郎. 子ども目線で考える楽しく・安全・快適な舌下免疫療法. 飯塚医師会学術講演会. 2021.1.27 (オンライン)
2. 田中祥一郎. 児童虐待の現状と地域に求められる役割. 令和3年度 筑豊ブロック民生委員・児童委員協議会 主任児童委員研修会. 2021.11.11 (飯塚市)
3. 大矢崇志. 小児てんかんの診断と治療. 飯塚医師会学術講演会. 2021.11.15 (オンライン)
4. 田中祥一郎. 小児科医パパによるはじめてセミナー「子どもの病気・おうちケア」. 2021年度 飯塚市子育て支援センター合同育児講座. 2021.11.27 (飯塚市)
5. 田中祥一郎. 地域の子育てを応援するためのネットワークづくり. 令和3年度 みんなで育もう!ふくおか子ども育成支援フォーラム. 2021.12.11 (糟屋郡)

#### —学会・研究会演題—

##### —国際学会

1. Yatsuga S, Amano N, Nakamura A, Kobayasi H, Takazawa K, Nagasaki K, Nakamura A, Nishigaki S, Numakura C, Fujiwara I, Minamitani K, Hasegawa T, Tajima T. Clinical characteristics of cytochrome P450 oxidoreductase deficiency:a nationwide survey in Japan. European Society for Paediatric Endocrinology. 2021.9.22-26 (Online)

##### —国内学会

1. 嘉村拓朗. 危急対応～鑑別を尽くす～ネグレクト編. 第16回小児救急医療ワークショップin北九州. 2021.3.6 (オンライン)
2. 大矢崇志, 田中祥一郎, 後藤裕美, 山野淳子, 岡松由記. 発達障害が疑われて当科を受診した被虐待児の報告. 第12回日本子ども虐待医学会学術集会. 2021.7.3-4 (京都市, オンライン)
3. 八ッ賀秀一. 周産期型低ホスファターゼ症の診療と家族歴調査の重要性. 第43回日本母体胎児医学会学術集会. 2021.8.27-28 (オンライン)
4. 岡松由記, 西小森隆太. 偶然見つかった無症候の先天性気管支閉鎖症の1症例報告. 第70回日本アレルギー学会学術大会. 2021.10.8-10 (横浜市, オンライン)
5. 田中ゆかり, 八ッ賀秀一, 齊木玲央, 牛嶋規久美. Glycogenic hepatopathyを繰り返したI型糖尿病9歳男児. 第54回日本小児内分泌学会学術集会. 2021.10.28-30 (オンライン)
6. 岡松由記, 西小森隆太. 喘息患者の入院数の10年間のまとめ. 第58回日本小児アレルギー学会学術大会. 2021.11.13-14 (横浜市, オンライン)

##### —研究会・学会地方会

1. 岡松由記. 一般外来で発達障害の対応を始めるお知らせ. 第324回筑豊小児科医会勉強会. 2021.3.10 (オンライン)
2. 八ッ賀秀一. 小児の成長と亜鉛. 第217回筑後小児科医会セミナー. 2021.3.11 (久留米市)
3. 大矢崇志. 神経発達症の診療のすすめ方 2021. 第325回筑豊小児科医会勉強会. 2021.4.8 (オンライン)

4. 八ッ賀秀一. 小児の成長と亜鉛. 第325回筑豊小児科医会勉強会. 2021.4.8 (オンライン)
5. 田中友規, 嘉村拓朗, 近藤里香子, 八ッ賀秀一, 岡松由記. 自殺企図によりメチルフェニデート中毒に至ったADHDの13歳男児. 第513回日本小児科学会福岡地方会. 2021.6.12 (福岡市)
6. 岡松由記. 当院に時間外受診した後、そのまま他院へ転送となった症例の見直し. 第20回九州・沖縄小児救急医学研究会. 2021.8.28 (北九州市, 福岡市, 他, オンライン)
7. 八ッ賀秀一. カルシウム・リン代謝異常症—低リン血症性くる病・骨軟化症を中心に—. 第329回筑豊小児科医会勉強会. 2021.9.16 (オンライン)
8. 岡松由記. 心臓ペースメーカー埋め込み術が施行された代理ミュンヒハウゼン症候群. 第3回九州沖縄子ども虐待医学研究会. 2021.9.18 (オンライン)
9. 田中友規, 嘉村拓朗, 上杉 達, 八ッ賀秀一, 大矢崇志, 岡松由記, 鴨打 周, 田口匠平. 基礎疾患があり診断までに時間を要した慢性虫垂炎の2例. 第514回日本小児科学会福岡地方会. 2021.10.9 (福岡市, オンライン)
10. 八ッ賀秀一. 成長曲線と内分泌疾患. 第331回筑豊小児科医会勉強会. 2021.11.16 (オンライン)
11. 田中ゆかり. 成長曲線からみえる内分泌症例. 第331回筑豊小児科医会勉強会. 2021.11.16 (オンライン)
12. 岡松由記. 気管喉頭分離術をうける子どもたちについてのお話. 令和3年度 筑豊地域小児在宅医療定例研修会 (12月). 2021.12.23 (オンライン)

—その他—

1. 田中祥一郎. 福岡発・医療の枠を越え、地域一丸で子どもの虐待問題に挑む. 月刊事業構想 2021年9月号. 2021.7.30.

## 北九州市立八幡病院

—論文—

1. Fujisaki T, Matsuishi T, Kamizono J, Amamoto M, Mizuochi T. Crohn's disease and chronic recurrent multifocal osteomyelitis in a Japanese boy. *Pediatr Int.* 2021;63(1):115-117.
2. Numaguchi A, Mizuochi F, Aoki Y, An B, Ishikura A, Ichikawa K, Ito Y, Uchida Y, Umemoto M, Ogawa Y, Osamura T, Obonai M, Kaneko K, Kamizono J, Kizaki Z, Kinoshita A, Kurihara Y, Konishi N, Sato A, Shibano S, Senda M, Takizawa T, Nakabayashi Y, Nerome Y, Murata Y, Morisaki N, Yoshimura K, Kawano Y, Kobayashi M, Okumura A. Epidemiology of Child Mortality and Challenges in Child Death Review in Japan. *Pediatr Int.* 2021;Nov22. doi:10.1111/ped.15068. Online ahead of print.
3. Kanemasa H, Nanishi E, Takada H, Ishimura M, Nishio H, Honjo S, Masuda H, Nagai N, Nishihara T, Ishii T, Adachi T, Hara S, Lin L, Tomita Y, Kamizono J, Komiyama O, Kohdera U, Tanabe S, Sato A, Hida S, Yashiro M, Makino N, Nakamura Y, Hara T, Ohga S. Overlapping Features in Kawasaki Disease-Related Arthritis and Systemic-Onset Juvenile Idiopathic Arthritis: A Nationwide Study in Japan. (ア) *Front Pediatr.* 2021;9:597458. doi:10.3389/fped.2021.597458.
4. 福政宏司, 西山和孝. コロナ禍における小児救急受診者数の現状. *日本小児救急医学会雑誌.* 2021;19(3):357-359.

5. 福政宏司, 西山和孝. コロナ禍における公衆衛生対策が小児科外来患者数と呼吸器感染症に与える影響. 日本小児科学会雑誌. 2021;125(12):1693-1701.
6. 押田康一, 伊藤琢磨, 白山理恵, 楠原浩一, 佐藤哲司, 酒井道生. 免疫抑制療法終了から10年後にインヒビターが再出現した後天性血友病A. 臨床血液. 2021;62(5): 186-189
7. 白川忠信, 高畑 靖, 倉田浩昭, 小窪啓之, 高島 健, 田宮貞史. 新生児DICを合併した間葉性異形成胎盤の1例. 日本産婦人科・新生児血液学会誌. 2021;31(1):9-10.
8. 吉田 峻, 神蘭淳司, 森吉研輔, 長嶺伸治, 佐藤寛晃. 頸部過伸展体位から体動困難な状況となり体位性窒息に陥った睡眠関連死の乳児剖検例. 日本SIDS・乳幼児突然死予防学会雑誌. 2021;21(1):44-50.
9. 埴岡由樹, 原田大輔, 亀島こずえ, 上山 薫, 折山恭子, 阪本夏子, 近藤可愛, 泉井 雅史, 長松有衣子, 柏木博子, 山室美穂, 神蘭淳司, 難波範行, 山田寛之. 一般小児科外来における小児早期警告スコアリングシステムの有用性の検討. 小児科臨床. 2021;74(4):463-467.
10. 和田 悠, 山根淳文, 浅見経之, 牧野 景, 田代 良, 手塚優子, 竹本幸司, 一木邦彦, 小野友輔, 神蘭淳司. 北九州市立八幡病院 小児救急センターでの小児科研修. 愛媛県立病院学会誌. 2021;55:62.
11. 坂本昌彦, 長村敏生, 松裏裕行, 泉 裕之, 竹田津 原野, 山本英一, 神蘭淳司, 平本龍吾, 高橋 勉, 森尾友宏, 小林正夫, 楠原浩一, 竹島泰弘. 未就学児の家庭内入浴時の溺水トラブルに関するアンケート調査結果. 日本小児科学会雑誌. 2021;125(3): 534-539.
12. 神蘭淳司. こどもを取りまく諸問題コロナ新時代本当の弱者は誰なのか. 福岡県医報 2021;1543:7-.
13. 神蘭淳司, 西山和孝, 賀来典之, 大部敬三, 米田 哲, 古野憲司, 石倉宏恭, 長井孝二郎, 岡松由記, 神代万壽美, 藤野隆之, 菅 尚浩, 佐藤和夫, 則尾弘文, 栗原 潔, 井上 治, 市川光太郎. 福岡県における乳幼児死亡における死亡診断書と解剖の現状と課題. 日本SIDS・乳幼児突然死予防学会雑誌. 2021;20(1):70-72.

#### —著書—

1. 岡嶋祥憲. 小児の上気道閉塞について. 救急救急(雑誌). 東京法令出版. 2021;18-20.
2. 福政宏司. 各論：外傷 口腔内の外傷小児内科 特集 必携！外傷と外科疾患への対応. 東京医学社. 2021;183-189.
3. 福政宏司. 各論：小児救急ケーススタディー 4 嘔吐エマログ. メディカ出版. 2021;51-59.
4. 小野友輔. 外傷(骨折、異物、他)小児エコーの撮像法と異常像がぜんぶわかる！金芳堂. 2021;320-330.
5. 小野友輔. 浅井塾直伝！できる小児腹部エコー(編集・執筆). 羊土社. 2021.
6. 神蘭淳司. 見逃してはいけない筋骨格系(四肢)の疾患と病態(特集“いつもと様子が違う”からはじまる小児救急)チャイルドヘルス. 診断と治療社. 2021;24(11):831-836.
7. 神蘭淳司. 【実践-小児の輸液】各病態における輸液の考え方. 熱傷小児内科. 東京医学社. 2021;53(4):538-543.
8. 神蘭淳司. 小児救急医療からみたCOVID-19と子ども環境. 日本小児科医会会報 日本小児科医会. 2021;62:130-135.
9. 神蘭淳司. 25) 悪心・嘔吐クリニカルガイド小児科. 専門医の診断・治療. 南山堂. 2021.

10. 神蘭淳司. 2 新生児・乳児・幼児・学童の生理学的特徴 ICU グリーンノート. 中外医学社. 2021.
11. 神蘭淳司. 6 小児の発達曲線、バイタルサイン、必要栄養投与量、薬剤投与量 ICU グリーンノート. 中外医学社. 2021.
12. 神蘭淳司. 3 章 小児頭部外傷のトピックス 1 - 2 児童虐待の臨床と疫学小児頭部外傷の診断と治療. 中外医学社. 2021.
13. 神蘭淳司. 子どものネグレクト環境と医科歯科連携学術レポート. 歯界時報 福岡県歯科医師会. 2021;8-15.
14. 小林 匡. 呼吸器感染症. ダウン症のすべて改訂 2 版. 中外医学社. 2021.
15. 小林 匡. 総論ショック. これだけは知っておきたい! よくみる小児疾患 101 第 2 版. 総合医学社. 2021.
16. 小林 匡. 小児の一次救命処置. 小児内科. 2021;53(12):1980-1985.

#### — 講演・シンポジウム —

1. 小野友輔. 小児臨床超音波 ～脱 徒然へ～ 第 10 回茨城こども ECHO ゼミナール. 2021.2.28 (水戸市、web)
2. 小野友輔. 小児臨床超音波とは! ? 第一回医局説明会. 2021.5.21 (北九州市)
3. 小野友輔. 小児臨床超音波 比較が重要 白か黒か、はたまた灰色か. 第 34 回日本小児救急医学会. 2021.6.18 (奈良市、web)
4. 小野友輔. 八幡病院の日常 今日も朝から小児臨床超音波 第二回 医局説明会. 2021.6.25 (北九州市)
5. 小野友輔. 真面目に不真面目 小児臨床超音波 第三回 医局説明会. 2021.6.16 (北九州市)
6. 小野友輔. 小児臨床超音波のミライ 第四回 医局説明会. 2021.8.21 (北九州市)
7. 小野友輔. 小児敗血症と超音波検査. 小児敗血症セミナー 2021. 2021.9.26 (北九州市)
8. 小野友輔. 小児救急ワークショップ in 北九州の舞台裏 小児科 HOPE. 2021.10.26 (北九州市)
9. 小野友輔. 小児超音波本執筆記念講演『できる! への第一歩』. 茨城こども ECHO ゼミナール (小児超音波研究会前夜祭). 2021.11.20 (熊本市、web)
10. 小野友輔. 積極的経過観察で救済した精巣捻転の一例 第 29 回キヤノンメディカルシステムズ 画論 上位入賞講演. 2021.12.19 (東京都、web)
11. 神蘭淳司. 虐待による乳幼児頭部外傷 診断と外傷性血液凝固異常. 第 175 回日本小児科学会 鹿児島地方会. 2021.2.7 (web)
12. 神蘭淳司. 子ども虐待医療. 最前線 2021 福岡県弁護士会北九州部会 子どもの権利委員会委員向け講演会. 2021.2.19 (北九州市)
13. 神蘭淳司. すべての乳幼児施設に従事する皆さんへ子ども虐待対応のキホン. 北九州市児童虐待連続講座 虐待対応研修会. 2021.3.26 (web)
14. 神蘭淳司. 子ども虐待医学と環境～医科歯科連携の強化～. 第 133 回歯科臨床医リフレッシュセミナー (口腔外科学会九州支部). 2021.5.29 (web)

15. 神蘭淳司. コロナ新時代の小児救急医療と予防医学阪神地区救急医療連携懇話会. 2021.6.10 (web)
16. 神蘭淳司. COVID-19と子ども環境 小児科医の役割. 第32回日本小児科医会総会フォーラム in福岡「ここまでできる！開業医～ワンランク上の小児診療を目指して～」 2021.6.27 (web)
17. 神蘭淳司. 子どもの成長と発達. 福岡市立保育士会主催 キャリアアップ研修. 2021.8.7 (福岡市)
18. 神蘭淳司. 子ども虐待とその環境の基礎知識. 福岡市立保育士会主催 キャリアアップ研修. 2021.8.7 (福岡市)
19. 神蘭淳司. 絶対に見逃せない園児の症状と徴候. 福岡市立保育士会主催 キャリアアップ研修. 2021.8.7 (福岡市)
20. 神蘭淳司. 子どもの事故予防と生活環境. 福岡市立保育士会主催 キャリアアップ研修. 2021.8.7 (福岡市)
21. 神蘭淳司. 明日からできる保育士による家族支援. 福岡市立保育士会主催 キャリアアップ研修. 2021.8.7 (福岡市)
22. 神蘭淳司. コロナ新時代の小児医療と医歯薬連携. 北九州市薬剤師会 講演会. 2021.8.26 (北九州市)
23. 神蘭淳司. ケースシナリオで学ぶ身体の発達と予防可能な事故. ほっと子育てふれあいセンター 後期基本研修第2回 身体の発達と病気. 2021.10.8 (北九州市)
24. 神蘭淳司. 乳幼児の発達段階に応じた傷害予防と緊急時の備え. 実践教育セミナーテーマ：病児保育室での緊急時対応第31回全国病児保育研究大会 in北九州. 2021.10.10 (北九州市)
25. 神蘭淳司. 子どもの虐待の現状と虐待が与える心の影響. 子ども虐待診療と臓器移植 北九州人権擁護委員協議会 子どもの人権部会 研修会. 2021.10.29 (北九州市)
26. 神蘭淳司. ネグレクト環境の子どもたちへ支援をどう届けるか. 北九州市児童虐待問題市民講座. 2021.11.19 (web)
27. 神蘭淳司. 乳幼児頭部外傷のリアルを知ろう！！アタマを打ちましたとイシキが変ですの違い第4回”虐待による乳幼児頭部外傷 (AHT)”を正しく知るための多職種勉強会. 2021.11.21 (web)
28. 神蘭淳司. Lecture5 Tele Health 時代の小児バイタルサイン評価日本小児救急医学会. 第12回教育研修セミナー. 2021.12.11 (web)
29. 神蘭淳司. BEAMS Stage1 医療機関向け虐待対応啓発プログラム. 2021.8.20 (熊本市)
30. 神蘭淳司. 子ども虐待専門医が臓器移植医療に関わる意義. 第22回兵庫県臓器提供懇話会講義提供応用編～マニュアルにないことが起きたときに～. 2021.9.17 (web)
31. 神蘭淳司. Child Medical Abuse 第3回九州沖縄子ども虐待医学研究会. 2021.9.18 (web)
32. 神蘭淳司. BEAMES Stage2 医療機関向け虐待対応啓発プログラム. 2021.11.13 (北九州市)
33. 神蘭淳司. BEAMS Stage1・2 医療機関向け虐待対応啓発プログラム. 2021.11.27 (北九州市)
34. 神蘭淳司. 乳幼児頭部外傷のリアルを知ろう！！アタマを打ちましたとイシキが変ですの違い. 第4回”虐待による乳幼児頭部外傷 (AHT)”を正しく知るための多職種勉強会. 2021.11.21 (web)
35. 神蘭淳司. 小児救急医療における乳幼児頭部外傷診療の課題. 第8回小児頭部損傷研究会. 2021.12.25 (web)

## 一学会・研究会演題一

1. 岡嶋祥憲, 西山和孝, 福政宏司, 小林 匡, 神菌淳司. 病院受診時における小児患者の意識レベルの評価についての検討. 第49回救急医学会. 2021.11.21 (東京都)
2. 興梶雅彦, 藤崎 徹, 福田祥子, 稲垣二郎, 神菌淳司, 安井昌博. 再発Ph+ALL女児に対する複数回移植後に発症したIPSへのニンテグニブ使用経験第83回日本血液学会学術集会. 2021.9.23 (仙台市)
3. 興梶雅彦, 松石登志哉, 藤崎 徹, 稲垣二郎, 神菌淳司, 安井昌博. カルテオロール塩酸塩点眼液起因の重症低血糖発作を来したランゲルハンス細胞組織球症第124回日本小児科学会学術集会 2021/04/16 京都府カルテオロール塩酸塩点眼液起因の重症低血糖発作を来したランゲルハンス細胞組織球症. 第124回日本小児科学会学術集会. 2021.4.16 (京都府)
4. 福政宏司. 当院での小児手指外傷の疫学. 第34回日本小児救急医学会. 2021.6.19 (奈良市)
5. 吉田 峻, 神菌淳司. キャスターボードによる学童期転倒事故症例の検討. 第124回日本小児科学会学術集会. 2021.4.17 (京都)
6. 吉田 峻, 神菌淳司. キャスターボードによる学童期転倒事故症例の特徴と事故予防の提言第34回日本小児救急医学会学術集会. 2021.6.18 (奈良)
7. 吉田 峻, 神菌淳司. 移動可能な乳児に発症した頸部過伸展による窒息死亡事故の検証 日本小児科学会福岡地方会. 2021.12.11 (福岡)
8. 伊藤琢磨, 押田康一, 白山理恵, 佐藤哲司, 酒井道生, 楠原浩一. エミシズマブ定期投与中のインヒビター保有血友病A患者における人工関節置換術周術期止血管理. 日本血栓止血学会. 2021.5.28 (宮崎市)
9. 白川忠信, 神菌淳司, 福政宏司, 高野健一, 天本正乃. 発疹出現が確認されなかったParvovirus B19感染症の特徴サーベイランス情報による流行状況の把握の重要性. 第124回日本小児科学会学術集会. 2021.4.18 (京都)
10. 白川忠信, 高畑 靖, 倉田浩昭, 小窪啓之, 高島 健, 田宮貞史. 新生児DICを合併した間葉性異形成胎盤の1例. 第31回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会. 2021.6.5 (Web)
11. 矢野真啓, 高野健一, 安井昌博, 神菌淳司, 天本正乃. COVID-19流行前後の小児血液培養コンタミネーション率の検証. 第515回日本小児科学会福岡地方会例会第515回日本小児科学会福岡地方会例会. 2021.12.11 (福岡市)
12. 佐々木 淳. 致死的な高Na血症の治療経験とその補正治療管理の課題. 第514回日本小児学会 福岡地方会. 2021.10.9 (福岡市)
13. 神菌淳司. COVID-19流行とチャイルド・マルトリートメントの発生動向. 第511回日本小児科学会 福岡地方会. 2021.2.13 (web)
14. 神菌淳司. 小児の敗血症の診断・治療 子どもの敗血症診療と体温上昇に応じた心拍数・呼吸数評価と臨床応用. 第34回小児救急医学会. 2021.6.20 (奈良市)
15. 神菌淳司. 歯科大生への「子ども虐待」学生実習の試み～医科歯科連携教育・臨床への取り組み～. 第12回日本子ども虐待医学会. 2021.7.4 (京都市)
16. 神菌淳司. 低エネルギー外傷による乳児急性硬膜下血腫の診療経験 地域子ども虐待支援体制の整備 第34回日本小児救急医学会. 2021.6.20 (奈良市)

17. 神蘭淳司. COVID-19 流行と Child Maltreatment の発生動向. 第124回日本小児科学会学術集会. 2021.4.16 (web)

## 聖マリア病院 小児科

### —論文—

1. Takeguchi R, Takahashi S, Akaba Y, Tanaka R, Nabatame S, Kurosawa K, Matsuishi T, Itoh M. Early diagnosis of MECP2 duplication syndrome: Insights from a nationwide survey in Japan. *J Neurol Sci.* 2021;15:422:117321. doi: 10.1016/j.jns.2021.117321
2. Yoshitomi S, Hamano S, Hayashi M, Sakuma H, Hirose S, Ishii A, Honda R, Ikea A, Imai K, Jin K, Kada A, Kakita A, Kato M, Kawai K, Kawakami T, Kobayashi K, Matsuishi T, Matsuo T, Nabatame S, Okamoto N, Ito S, Okumura A, Saito A, Shiraishi H, Shirozu H, Saito T, Sugano H, Takahashi Y, Yamamoto H, Fukuyama T, Kuki I, Inoue Y, (Japan Rare Epilepsy Syndrome Registry Group\*JRESG). Current medico-psycho-social conditions of patients with West syndrome in Japan. *Epileptic Disord.* 2021;1:23:579-588. doi: 10.1684/epd.2021.1301.
3. Kawano G, Yokochi T, Nishikomori R, Watanabe Y, Ohbu K, Takahashi Y, Shintaku H, Matsuishi T. Case Report: Rituximab Improved Epileptic Spasms and EEG Abnormalities in an Infant with West Syndrome and Anti-NMDAR Encephalitis Associated With APECED. *Front Neurol.* 2021;20:12:679164. doi:10.3389/fneur.2021.679164
4. Kawano G, Yae Y, Sakata K, Yokochi T, Imagi T, Ohbu K, Matsuishi T. Truncal Instability and Titubation in Patients With Acute Encephalopathy with Reduced Subcortical Diffusion. *Front Neurol.* 2021;17:12:740655. doi:10.3389/fneur.2021.740655.

### —講演・シンポジウム—

1. 松石豊次郎, 弓削康太郎, 河野 剛, 七種朋子, 原 宗嗣. 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患研究事業)稀少てんかんに関する包括的研究(班長、井上有史)。分担研究報告書 筑後地区における稀少難治てんかんに関する研究 -けいれん重積型2相性脳症の臨床的検討の解析を中心として-。2021.11.21. オンライン会議

### —学会・研究会演題—

1. 加藤 健, 津村直弥, 松行圭吾, 宮崎裕之, 徳富謙太郎, 山下大輔, 阪田健祐, 越智悠一, 松下美由紀, 横地賢興, 財津亜友子, 今城 透, 日高智子, 河野 剛, 秋田幸大, 大部敬三, 水落建輝. 当院における2020年の小児サルモネラ感染入院例の臨床像. 第17回日本小児消化管感染症研究会. 2021.2.6 (大阪)
2. 徳富謙太郎, 阪田健祐. 嘔吐、めまいで発症した小脳梗塞を認めた8歳男児. 第285回プライマリーケアカンファランス. 2021.3.25 (久留米)
3. 永田直哉, 松下美由紀. 急性脳症の経過をとった虐待による急性硬膜下血腫を認めた1か月男児. 第285回プライマリーケアカンファランス2. 2021.3.25 (久留米)
4. 田中星羽, 山下大輔. 川崎病に伴う可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎を認めた13歳男児. 第285回プライマリーケアカンファランス. 2021.3.25 (久留米)
5. 長井孝太, 松行圭吾, 越智悠一, 加藤 健. 傾眠傾向を主訴に受診し腸重積と診断した5か月女児. 第285回プライマリーケアカンファランス. 2021.3.25 (久留米)
6. 河野 剛. 頭部MRIでbright tree appearanceを認めた急性脳症における体幹動揺とtitubation. 第63回日本小児神経学会学術集会. 2021.5.27 (福岡)

7. 弓削康太郎, 高橋知之, 松石豊次郎, 山下裕史朗. MeCP2欠損マウスによるレット症候群の睡眠障害に関する研究. 第63回日本小児神経学会学術集会. 2021.5.27 (福岡)
8. 山川祐輝, 越智悠一. RSウイルスにより重症肺炎を認めた早産極低出生体重で出生した1歳男児. 第286回プライマリーケアカンファランス. 2021.8.26 (久留米)
9. 溝部 至, 徳富謙太郎. 頭部打撲を契機に多動増悪, 視野, 歩行, 微細運動障害を認めた4歳男児. 第286回プライマリーケアカンファランス. 2021.8.26 (久留米)
10. 濱田翔吾, 木村 拓, 松下美由紀. 1か月間, 発熱のみが持続し最終的に高安動脈炎と診断した14歳女児. 第286回プライマリーケアカンファランス. 2021.8.26 (久留米)
11. 今里美有紀, 山下哲矢, 坂口廣高. 亜鉛補充に伴い銅欠乏による貧血を認めた重症心身障害児15歳女児. 第286回プライマリーケアカンファランス. 2021.8.26 (久留米)
12. 宮城皓平, 越智悠一. 車両火災による重症熱傷を認め長期入院加療を要している1歳男児. 第287回プライマリーケアカンファランス. 2021.11.25 (久留米)
13. 松下龍仁, 徳富謙太郎. サルモネラ腸炎に伴う菌血症, 骨髄炎を認めた3歳男児. 第287回プライマリーケアカンファランス. 2021.11.25 (久留米)
14. 南里大樹, 東 陽三. 当院でのボタン電池 誤飲に対する対応. 第287回プライマリーケアカンファランス. 2021.11.25 (久留米)
15. 徳永高帆, 山下哲矢. 突如始まった口周囲, 左上肢の不随意運動を主訴に受診した4歳男児. 第287回プライマリーケアカンファランス. 2021.11.25 (久留米)

## 聖マリア病院 新生児科

### —論文—

1. Teramachi Y, Maeno Y, Hirose A, Horinouchi T, Kozuma Y, Yoshizato T, Suda K. Simple method to distinguish the type of fetal premature contraction using arterial Doppler time interval measurements. The Journal of Obstetrics and Gynaecology research. 2021;47:495-500.
2. Saikusa M, Kinoshita M, Tsuda K, Hisano T, Okada J, Iwata S, Fujino H, Maeno Y, Yamashita Y, Iwata O. Revisions of clinical protocols using the Plan Do Check Act cycle improved outcomes of extremely preterm infants at 2 years. Acta Paediatrica. 2021;110:2100-2109.
3. Kinoshita M, Yatsuga S, Iwata O, Okamura H, Morisaki T, Iwata S, Hara N, Shindo R, Saikusa M, Harada E, Tsuda K, Yamashita Y, Koga Y. Temporal changes and control variables of growth differentiation factor 15 levels during the first week of life in hospitalised newborn infants. Mitochondrion. 2021;61:25-30.
4. 門間和夫, 前野泰樹. 総動脈幹遺残ラット胎仔心臓血管断面の天然色図譜. 日本小児循環器学会雑誌. 2021; 37(2):88-95.

### —著書—

1. 前野泰樹. 胎児不整脈をどう見る? 治療しなくてはならない胎児不整脈は?. 図解とQ&Aここまで分かるステップアップ新生児循環管理 改訂2版 与田仁志編著 メディカ出版. 2021:274-278.
2. 前野泰樹. 新生児不整脈をどう見る? 治療しなくてはならない新生児不整脈は?. 図解とQ&Aここまで分かるステップアップ新生児循環管理 改訂2版 与田仁志編著 メディカ出版. 2021:278-285.

## —講演・シンポジウム—

1. 海野光昭, 木下正啓. 新生児医療における遠隔医療の現状と取組み. 第24回日本遠隔医療学会学術大会 共催セミナー JSL2. 2021.2.11-25 (web)
2. 海野光昭. 日米の新生児医療における遠隔医療の取組みと効果・課題について Tele-Neonatology in the United States and Japan. 第24回日本遠隔医療学会 共催セミナー JSL2. 2021.2.11-25 (web)
3. 前野泰樹. 胎児不整脈を見つけたら. 第15回近畿胎児心臓病研究会. 2021.6.6 (大阪, web)
4. 前野泰樹. 教育講演 周産期管理に始まる先天性心疾患の管理と予後. 第57回日本周産期新生児医学会. 2021.7.10-12 (宮崎)
5. 海野光昭. 遠隔医療システムと周産期医療の融合 ～近未来の安全・安心な出産を目指して～. ランチオンセミナー 第25回日本遠隔医療学会学術大会. 2021.10.9-10 (岐阜)
6. 前野泰樹. もう慌てない, 新生児の不整脈, 正しく知って, 正しく対応. 第1回九州新生児成育セミナー. 2021.10.30 (鹿児島)
7. 海野光昭. 周産期遠隔医療構想の実現に向けて ～聖マリア病院NICUにおける取組み～. 第4回東北新生児セミナー. 2021.10.30 (Web)
8. 前野泰樹. 胎児心エコー検査ガイドライン第2版 改訂のポイント. 第5回九州山口胎児心臓研究会. 2021.11.20 (北九州, web)
9. 海野光昭. いま求められる遠隔医療「あらゆる現場で、いつでも簡単につながる安心を」国内の先進事例と、PHCの最新遠隔医療システムの紹介. 企業新製品発表会. 2021.12.9 (web)
10. 前野泰樹. 胎児の心室期外収縮, 心室頻拍. 第6回日本胎児心臓病学会レベル2講習会. 2021.12.12 (東京, web)

## —学会・研究会演題—

1. Maeno Y, Hirose A, Teramachi Y, Inoue T, Maeda Y, Takase R, Koteda Y, Suda K. Cardiac Function in Fetuses with Maternal Anti-SS-A Antibody Assessed by Dual-Gate Doppler Echocardiography. The 8<sup>th</sup> Congress of the Asia-Pacific Pediatric Cardiac Society. 2021.7.17-18 (Taipei, web)
2. 寺町陽三, 前野泰樹, 廣瀬彰子, 堀之内崇士, 上妻友隆, 吉里俊幸, 須田憲治. Dual gate Doppler法を使用した胎児心機能評価. 第26回日本胎児心臓病学会学術集会. 2021.2.26-27 (仙台, web)
3. 富野広通, 寺町陽三, 廣瀬彰子, 堀之内崇士, 上妻友隆, 吉里俊幸, 前野泰樹. Ebstein奇形に心室中隔欠損症を合併しcircular shuntをきたした1例. 第26回日本胎児心臓病学会学術集会. 2021.2.26-27 (仙台, web)
4. 桑原浩徳, 木下正啓, 七種 護, 進藤亮太, 中村美彩, 緑川浩子, 嶽間澤昌史, 原 直子, 山下裕史朗. 先天性肺気道奇形・肺分画症に非典型的な縦隔気腫を認めた1例. 第512回日本小児科学会福岡地方会例会. 2021.4.10 (福岡)
5. 前野泰樹, 寺町陽三, 廣瀬彰子, 堀之内崇士, 上妻友隆, 吉里俊幸. 新生児ループスの心機能障害: Dual-gate Doppler胎児心エコーによる心機能評価. 第65回日本新生児成育医学会学術集会. 2021.5.7-9 (札幌, web)
6. 前野泰樹, 前田靖人, 鍵山慶之, 寺町陽三, 家村素史. 新生児医による入院時心エコー検査の先天性心奇形診断に対する役割. 第57回日本小児循環器学会学術集会. 2021.7.8-10 (奈良, web)

7. 寺町陽三, 前野泰樹, 廣瀬彰子, 須田憲治. Tissue Doppler法における Myocardial Performance Index の新たな測定. 第57回日本小児循環器学会学術集会. 2021.7.8-10 (奈良, web)
8. 清松光貴, 鍵山慶之, 高瀬隆太, 寺町陽三, 籠手田雄介, 財満康之, 庄嶋賢弘, 前野泰樹, 須田憲治. 胎児診断によりスムーズに心内修復に到達できた左肺動脈動脈管起始症, 右側大動脈弓の一例. 第57回日本小児循環器学会学術集会. 2021.7.8-10 (奈良, web)

## 同門業績

### 加藤裕久

#### —国際学会—

1. Kato H. Insight into cardiovascular problems of Kawasaki disease, My milestones for 50 years. “1<sup>st</sup> Tomisaku Kawasaki Memorial Lecture”. 13<sup>th</sup> International Kawasaki Disease Symposium. 2021.

#### —国内学会—

1. 加藤裕久. 総合シンポジウム：追悼企画：“恩師 川崎富作：その足跡と追究「小児科医 川崎富作先生とともに」. 第124回日本小児科学会. 2021（京都）
2. 加藤裕久. 川崎病心血管障害の歴史. Zoom Seminar “成人になった川崎病の問題”. 日本成人先天性心疾患学会. 2021

### 橋本武夫

#### —論文—

1. 橋本武夫. タッチは愛の言葉なり —事例から学ぶ愛着—. 臨床助産ケア. p62～65 日創研出版 2021.11.25
2. 橋本武夫. 乳児期の子育てに大切なこと. 子育て応援季刊情報誌. vol56 p4～5 新潟市育ちの森発行

#### —国内学会—

1. 橋本武夫. 「教科書に載らない母乳育児支援～今こそ発想転換を～」. 第35回日本母乳哺育学会学術集会交流集会. 2021.9.18（群馬、Web開催）
2. 橋本武夫. 「母乳哺育に関する最近の話題」. 第35回日本母乳哺育学会学術集会市民公開講座座長. 2021.9.19（群馬、Web開催）

#### —講演会—

1. 橋本武夫. 「子どもの育ちとメディア」. 味坂保育園保護者講演会（4～5歳児）. 2021.4.10 小郡市味坂保育園
2. 橋本武夫. 「今大切にすべき子どもとのかかわり」. 味坂保育園保護者講演会（0～3歳児）. 2021.4.10 小郡市味坂保育園
3. 橋本武夫. 「遊びとメディア」. 味坂保育園未就園児保護者向け講座. 2021.4.15 小郡市味坂保育園
4. 橋本武夫. 「医師が伝える母乳育児 今なぜ母乳育児なのか?」. 一般社団法人ママズケア講演会Web公園. 2021.4.21 ホテル竹園芦屋
5. 橋本武夫. 「Family centered care の流れ」. 聖マリア学院大学看護学科特別講義. 2021.6.18 聖マリア学院大学
6. 橋本武夫. 「0歳児の遊びとその対応」. 味坂保育園未就園児保護者向け講座. 2021.6.24 小郡市味坂保育園
7. 橋本武夫. 「新生児医療と療育に寄り添って ～初心忘るべからず～」. アトムメディカルKK社員研修会. 2021.6.25 福岡市全日空ホテル
8. 橋本武夫. 「タッチケア ～始まりと概念と応用～」. 第41回日本タッチケア協会指導者講習会. 2021.7.3

新潟日報会館ナレッジルーム

9. 橋本武夫. 「コロナ環境の中から社会問題・子育てを考える」. 第41回日本タッチケア協会指導者講習会. 2021.7.4 新潟日報会館ナレッジルーム
10. 橋本武夫. 「親と子を支える保育士として理解してほしい事」. 令和3年度福岡県哺育協会新任保育士等研修会. 2021.7.21 春日市グローバープラザ
11. 橋本武夫. 「新生児医療の流れと游於藝」. 聖マリア学院助産科特別講義. 2021.9.15 聖マリア学院大学
12. 橋本武夫. 「タッチケアと母乳育児の最新情報」. 純真大学看護学科特別講義. 2021.10.14 純真大学
13. 橋本武夫. 「神からの授かりもの神生児」. 島岡医院子育て講座橋本教室. 2021.10.19 京都島岡医院
14. 橋本武夫. 「最近特に気になる事例を考える」. 味坂保育園子育て講座. 2021.10.21 小郡市味坂保育園
15. 橋本武夫. 「NICUから在宅への流れ～実践と反省を込めて～」. 令和3年度佐賀県医療的ケア児等コーディネーター養成研修会. 2021.10.22 佐賀県勤労者福祉センター
16. 橋本武夫. 「医療的ケア児の疾患と求められる新しい挑戦」. 令和3年度佐賀県医療的ケア児等コーディネーター養成研修会. 2021.10.23 佐賀県勤労者福祉センター

## 木村昭彦

### —論文—

1. Kimura A, Mizuochi T, Takei H, Ohtake A, Mori J, Shinoda K, Hashimoto T, Kasahara M, Togawa T, Murai T, Aida T, Nittono H. Bile acid synthesis disorders in Japan: Long-term outcome and chenodeoxycholic acid treatment. Dig Dis Sci 2021;66:3885-3892.
2. Kimura A, Kagawa T, Takei H, Maruo Y, Sakugawa H, Sasaki T, Murai T, Naritaka N, Takikawa H, Nittono H. Rotor syndrome: Glucuronidated bile acidemia from defective reuptake by hepatocytes. Hepatol Commun 2021;5:625-633.

## 松浦伸郎

### —学会発表—

1. 松浦伸郎, 川島 崇, 熊谷直樹. コロナ時代の地域医療を考える. 第30回日本外来小児科学会年次集会. 2021.8.22 (京都, Web)
2. 福永雅文, 北郷悠子, 下村美香, 松浦伸郎. バルプロ酸ナトリウム徐放錠 (VPA-R) を服用中に2児を妊娠・出産した事例. 日本プライマリ・ケア連合学会第34回近畿地方会. 2021.11.28 (Web)
3. 北郷悠子, 福永雅文, 下村美香, 一丸智司, 松浦伸郎. 高齢者のベンゾジアゼピン受容体作動薬からの離脱に及ぼす酸棗仁湯服用の影響. 日本プライマリ・ケア連合学会第34回近畿地方会. 2021.11.28 (Web)

### —その他—

1. 講義は兵庫県立大学環境人間学部へ赴き年7-8回程度学校保健を教えています。また医師会看護学校へは年7回出務、感染症を教えています。
2. 講演といいますが、姫路市の地域のTVに私のインフルエンザの講演と学校保健総論の講演が年各1回毎日

30分を2回1週間放映されています。これはケーブルと地デジで見られます。2021年も4月11月にありました。

## 松元 透

### —論文—

1. Matsumoto T. Suvorexant improves intractable nocturnal enuresis by altering sleep architecture. BMJ Case Rep. 2021;14:e23.9621(1-4)

### —著書—

1. 松元 透, 中村尋子, 黒田玲子. おむつにさよならする日. 北九州市保育士会 2021:1-126.

### —その他—

1. 西日本新聞. 2021年6月21日掲載.

## 津村直幹

### —論文—

1. Ishiwada N, Fujimaki K, Matsumoto T, Kiyota H, Tateda K, Sato J, Hanaki H, Takayanagi R, Yamaguchi Y, Hoshino T, Kuroki H, Iwata S, Tajima T, Horikoshi Y, Shiro H, Bamba M, Kawamura N, Ouchi K, Matsubara K, Okada T, Furuno K, Tsumura N. Nationwide surveillance of bacterial pathogens isolated from children conducted by the surveillance committee of Japanese Society of Chemotherapy, the Japanese Association for Infectious Diseases, and the Japanese Society for Clinical Microbiology in 2017: General overview of pathogenic antimicrobial susceptibility. J Infect Chemother. 2021;27:139-50.

### —講演会—

1. 津村直幹. 新型コロナウイルスワクチンの効果と安全性について. 久留米市新型コロナウイルスワクチン接種推進協議会 第1回会議. 2021.2.19 (久留米)
2. 津村直幹. 新型コロナウイルスワクチンの効果と安全性について. 久留米市新型コロナウイルスワクチン接種事業説明会. 2021.3.5 (久留米)
3. 津村直幹. 新型コロナウイルスワクチンの効果と安全性について. 小郡三井医師会 新型コロナウイルスワクチン勉強会. 2021.3.18 (小郡)
4. 津村直幹. With コロナ、そして After コロナを見据えた小児気道感染症～検査・診断の重要性～. アークレイ感染症 Web Live Seminar. 2021.4.22 (福岡 web)
5. 津村直幹. 乳幼児期に必要なワクチンのスケジュール. 第9回プレママとプレパパの子育て・ワクチンセミナー. 2021.7.24 (福岡 web)
6. 津村直幹. 新型コロナウイルスワクチンの必要性について. 第189回地域医療連携講演会. 2021.7.27 (小郡)
7. 津村直幹. コロナ禍での感染対策 ～ワクチンの重要性～. 令和3年度第1回多職種連携研修会. 2021.7.29 (久留米)
8. 津村直幹. With コロナにおけるワクチンの重要性. 八戸市小児科医会学術講演会. 2021.10.15 (久留米 web)
9. 津村直幹. With コロナにおけるインフルエンザ診断・治療の重要性. 県北小児科医会学術講演会. 2021.11.11 (久留米 web)

10. 津村直幹. With コロナにおけるワクチンの重要性. 京都医師会予防接種研修会. 2021.11.25 (久留米 web)
11. 津村直幹. With コロナにおけるインフルエンザ診断・治療の重要性. 抗インフルエンザ薬適正使用推進講演会 in 佐賀 2021. 2021.12.2 (久留米 web)
12. 津村直幹. 一般内科医から診た肺炎治療. Kyorin 社内勉強会. 2021.12.16 (久留米)
13. 津村直幹. 新型コロナウイルスワクチン3回目接種の効果と安全性について. 久留米市新型コロナウイルスワクチン接種推進協議会 第4回会議. 2021.12.21 (久留米)

## 杉村 徹

### —論文—

1. Sugimura T, Seo T, Terasaki N, Ozaki Y, Rikitake N, Okabe R, Matsushita M. Efficacy and safety of breast milk eye drop in infants with eye discharge. *Acta Paediatrica*. 2021;110:1322-1329.
2. 杉村 徹. リサーチ委員会：みなさん、リサーチしてみませんか！外来小児科. 2021;24:207-208.

### —学会・研究会演題—

1. 杉村 徹. “オープニングリマークス：リサーチ始めてみませんか” 特別企画 日常診療に関係する臨床研究のすすめ. 第30回日本外来小児科学会年次集会. 2021.8.21 (京都、オンライン)

## 牟田広実

### —講演・シンポジウム—

#### —国内学会

##### シンポジウム

1. 牟田広実. 特別企画—日常診療に関係する臨床研究のすすめ— 開業医でもここまでできる臨床研究. 第30回日本外来小児科学会年次集会. 2021.8 (京都)

#### —ワークショップ—

1. 牟田広実, 杉村 徹. 調査研究方法検討会 in 年次集会 日常のちょっとした疑問を調べてみませんか？第30回日本外来小児科学会年次集会. 2021.8 (京都)
2. 野田 隆, 牟田広実. 受動喫煙について考えてみよう—侃侃諤諤！！第16回日本禁煙科学会学術総会 in 倉敷. 2021.9 (オンライン)

### —学会・研究会演題—

#### —国内学会

1. 牟田広実, 杉村 徹, 青木才一志, 田川正人, 加藤優紀子, 平松裕之, 鈴木竜太, 吉川哲史. 5価ロタウイルスワクチン(ロタテック®)接種直後の吐き出しによる便中ワクチン株排泄への影響. 第30回日本外来小児科学会年次集会. 2021.8 (京都)

### —その他—

#### —ガイドライン

1. 小児 COVID-19 合同学会ワーキンググループ(日本小児科学会・日本小児感染症学会・日本外来小児科学会). 小児の外来診療におけるコロナウイルス感染症 2019 (COVID-19) 診療指針 第2版